

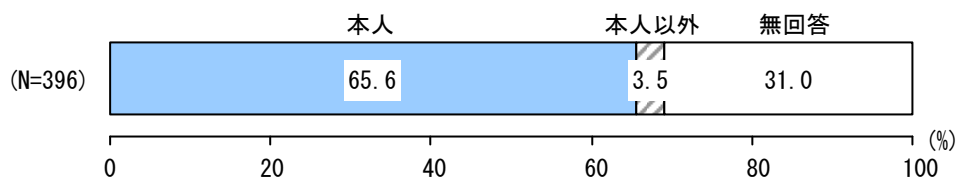
第3章 若年者調査の結果

1 回答者の基本属性

(1) 調査票記入者

Q 調査票を記入された方をお教えてください。〈あてはまる方に○を付けてください。〉

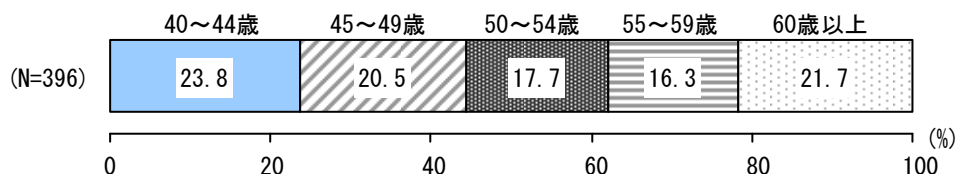
調査票の記入者は、「本人」が65.6%、「本人以外」が3.5%となっています。



(2) 年齢

問1 Q1. あなた（あて名のご本人。以下の問も同じです）の年齢をお教えてください。
〈○は1つ〉

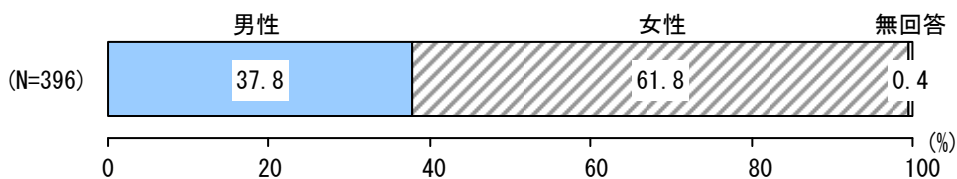
回答者の年齢は、「40～44歳」が23.8%で最も高く、次いで「60歳以上」が21.7%、「45～49歳」が20.5%となっています。



(3) 性別

問1 Q2. あなたの性別をお教えてください。〈○は1つ〉

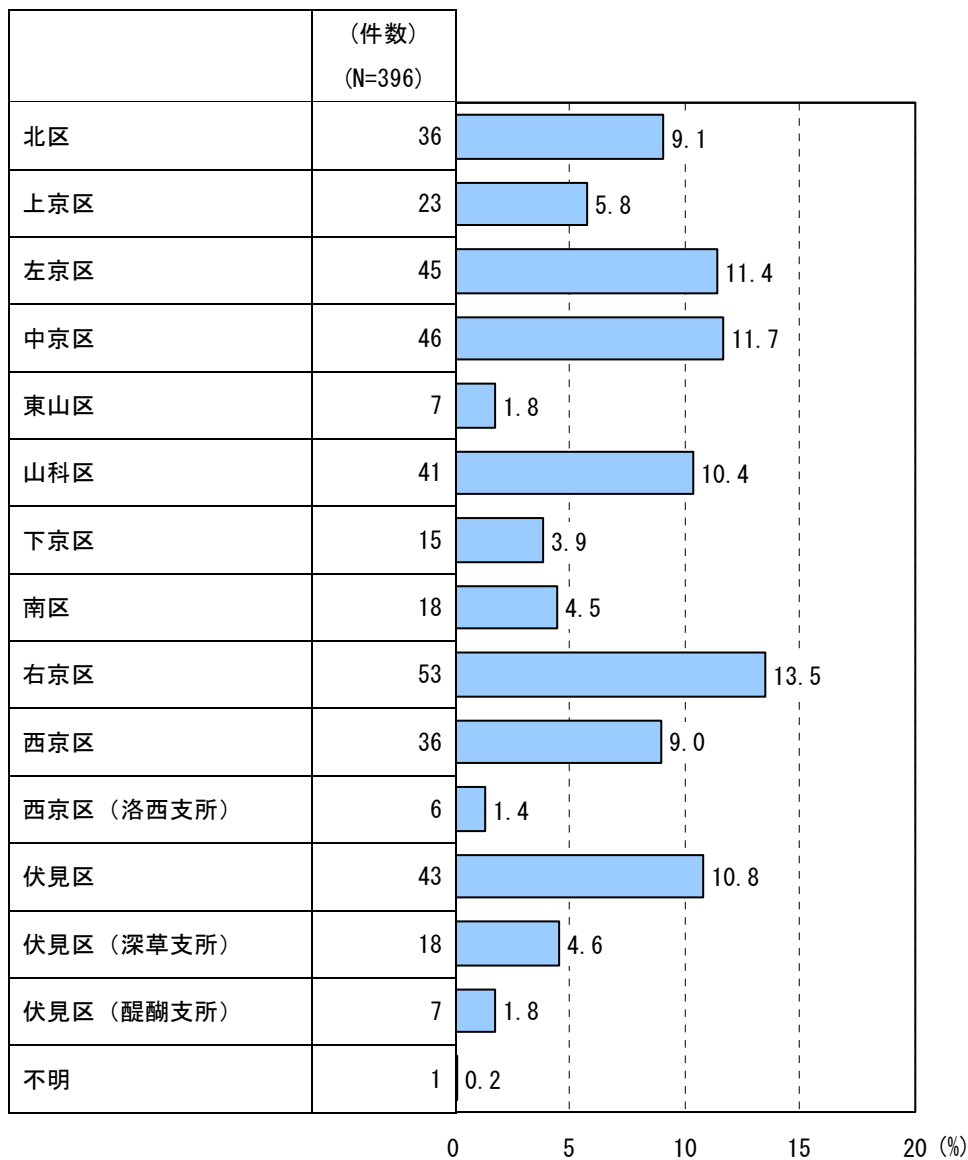
回答者の性別は、「女性」が61.8%、「男性」が37.8%となっています。



(4) 回答者の属する行政区・支所

問1 Q3. あなたがお住まいの区・支所をお教えてください。〈〇は1つ〉

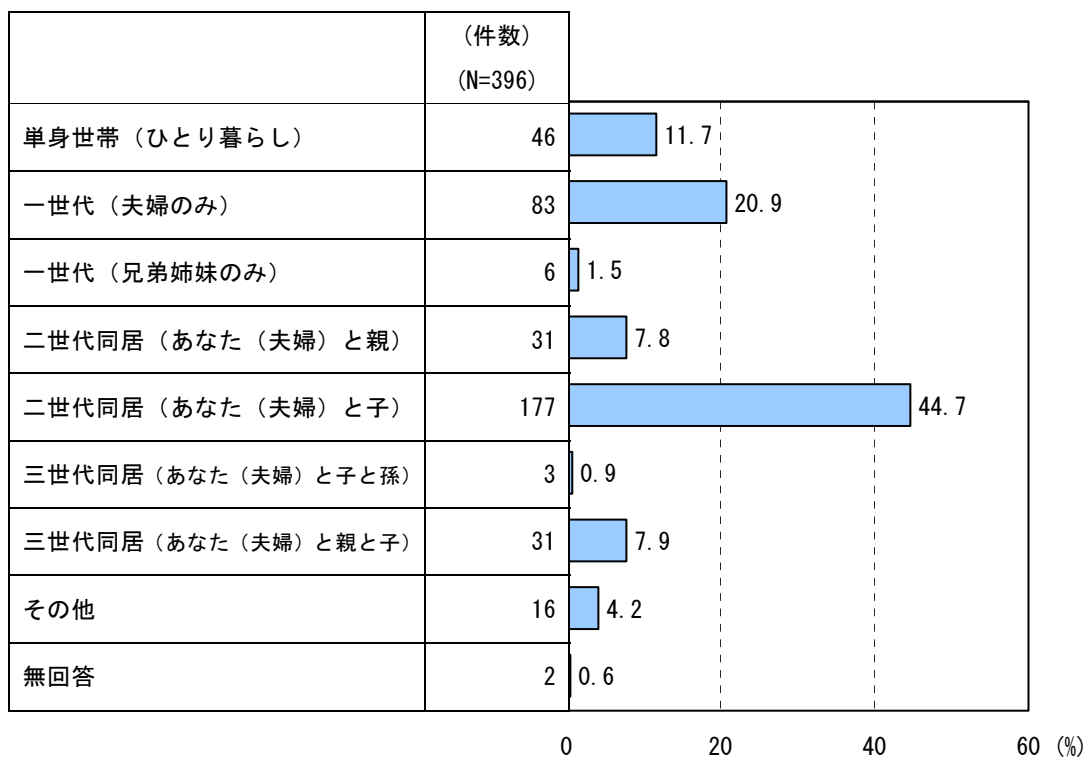
回答者の居住区・支所は、「右京区」が13.5%で最も高く、次いで「中京区」が11.7%、「左京区」が11.4%となっています。



(5) 家族構成

問1 Q 4. あなたの同居者（家族）の構成をお教えてください。〈〇は1つ〉

回答者の家族構成については、「二世世代同居（あなた（夫婦）と子）」が44.7%で最も高く、次いで「一世代（夫婦のみ）」が20.9%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が11.7%となっています。

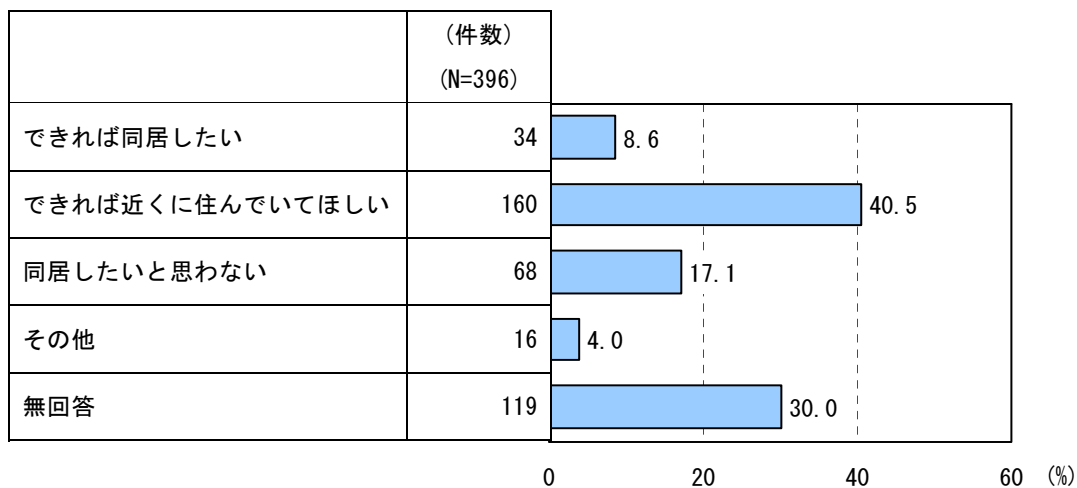


(6) 子との同居意向

【子がいる方のみ】

問1 Q 4-1. あなたは子と同居したい（し続けたい）ですか。〈〇は1つ〉

子がいる人に、子との同居意向をたずねたところ、「できれば近くに住んでいてほしい」が40.5%で最も高く、次いで「同居したいと思わない」が17.1%、「できれば同居したい」が8.6%となっています。



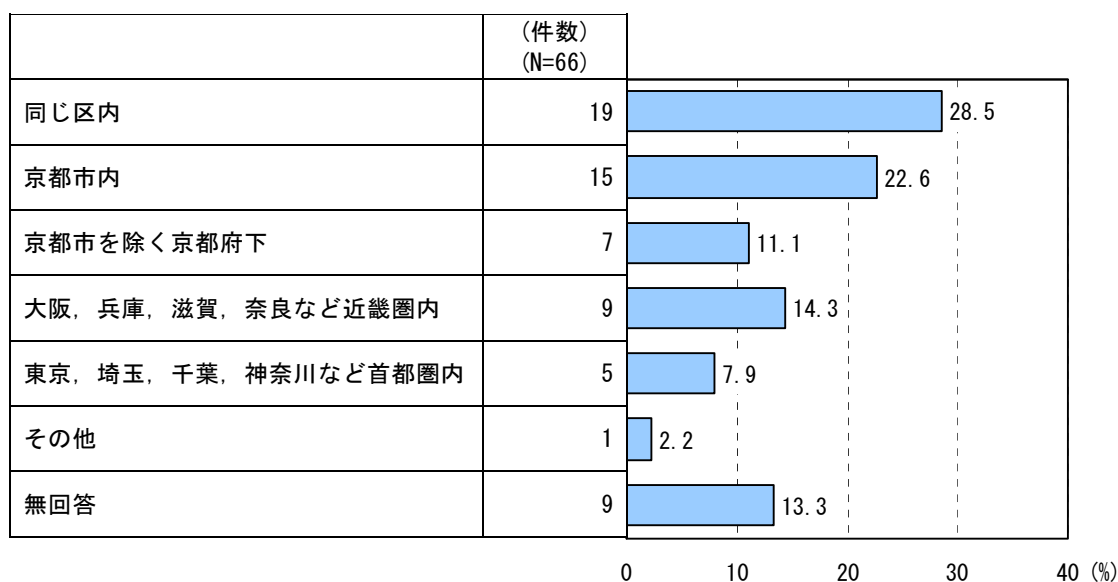
(7) 最も近居の子の居住地

【子がいる方で子と同居されていない方のみ】

問1 Q4-2. 子はどこに住んでおられますか。

<最も近くにお住まいの子の居住地1つに○>

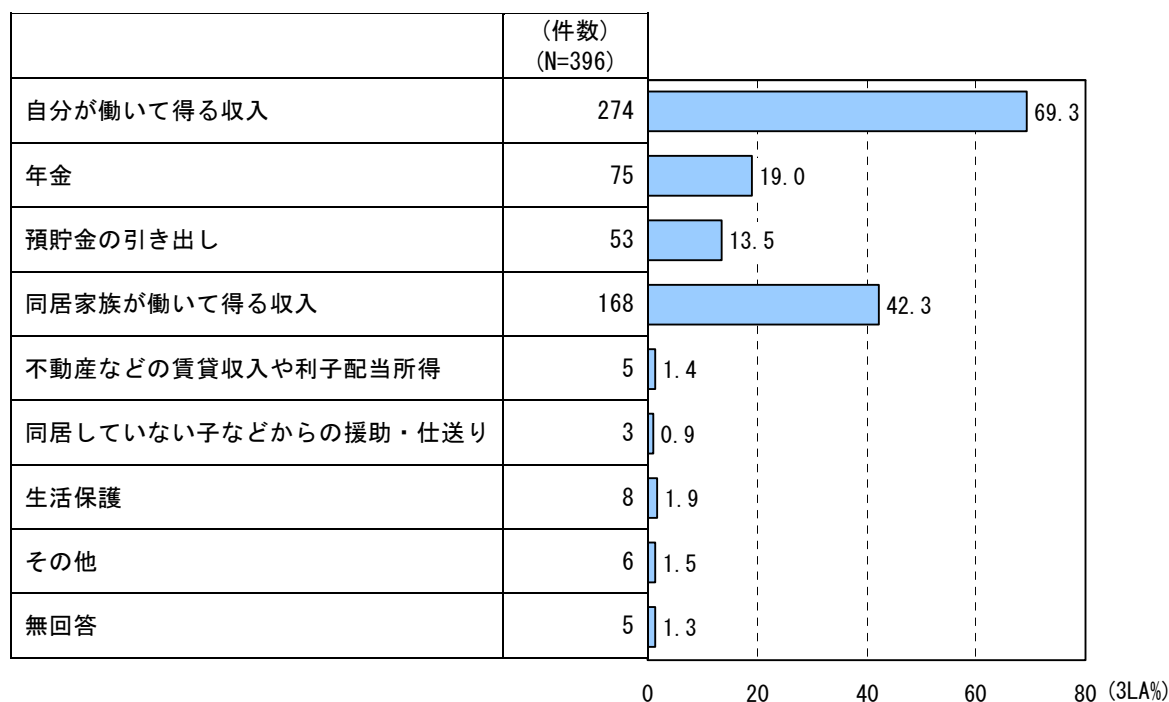
子がいる人で子と同居していない人に、最も近居の子の居住地をたずねたところ、「同じ区内」が28.5%で最も高く、次いで「京都市内」が22.6%、「大阪、兵庫、滋賀、奈良など近畿圏内」が14.3%となっています。



(8) 生活費の収入源

問1 Q5. あなたは生活費をどのようにして得ていますか。<○は3つまで>

生活費の収入源については、「自分が働いて得る収入」が69.3%で最も高く、次いで「同居家族が働いて得る収入」が42.3%、「年金」が19.0%となっています。

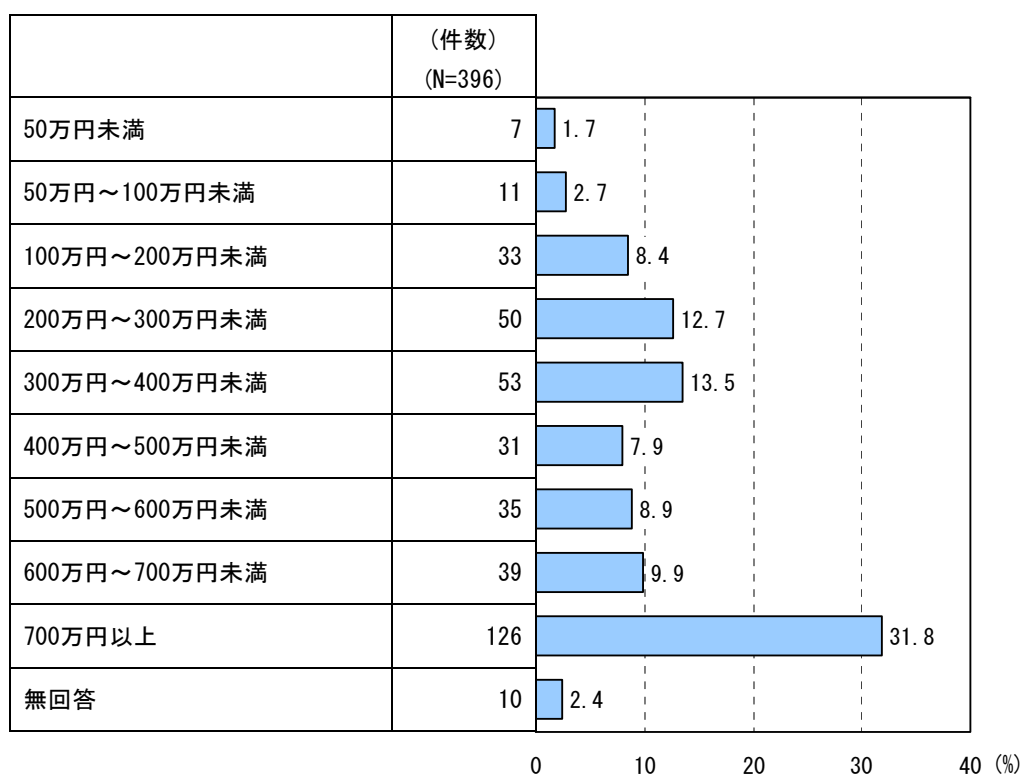


(9) 世帯の年間総収入

問1Q6. あなたの世帯の年間総収入（年金収入を含む。税込）はどのくらいですか。
 <○は1つ>

世帯の年間総収入については、「700万円以上」が31.8%で最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が13.5%、「200万円～300万円未満」が12.7%となっています。

年齢別でみると、59歳までは「700万円以上」が最も高く、60歳以上では「200万円～300万円未満」が最も高くなっています。



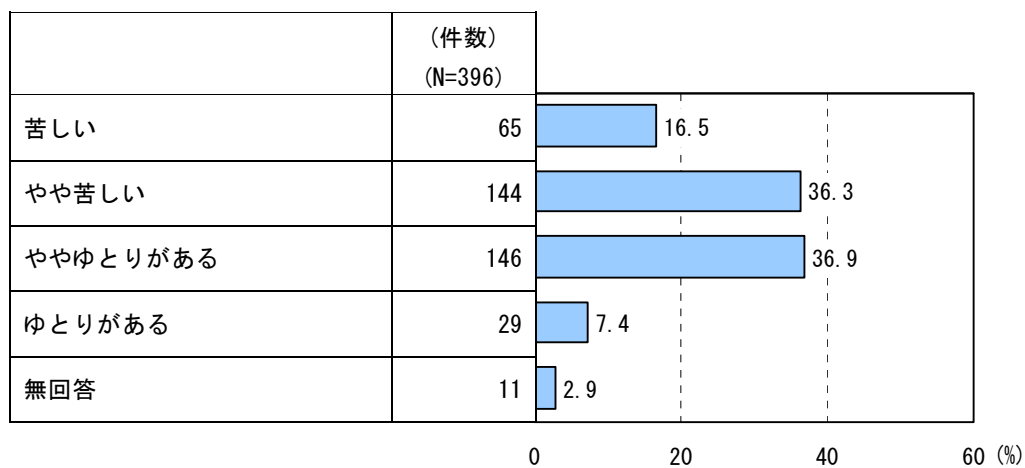
【年齢別 世帯の年間総収入】

	N	50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円以上	無回答
40～44歳	94	1.9	1.9	5.6	9.3	11.1	11.1	9.3	9.3	37.0	3.7
45～49歳	81	-	1.8	3.5	5.3	12.3	7.0	10.5	15.8	43.9	-
50～54歳	70	2.1	4.2	6.3	5.3	13.7	5.3	8.4	9.5	43.2	2.1
55～59歳	65	5.6	3.4	11.2	12.4	11.2	11.2	7.9	9.0	24.7	3.4
60歳以上	86	-	3.0	15.8	29.7	18.8	5.0	7.9	5.9	10.9	3.0

(10) 経済的にみた現在の暮らしの状況

問1 Q7. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。〈〇は1つ〉

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ややゆとりがある」が36.9%で最も高く、次いで「やや苦しい」が36.3%で、「苦しい」と「やや苦しい」をあわせた『苦しい』は52.8%、「ややゆとりがある」と「ゆとりがある」をあわせた『ゆとりがある』は44.3%となっています。



2 住まいについて

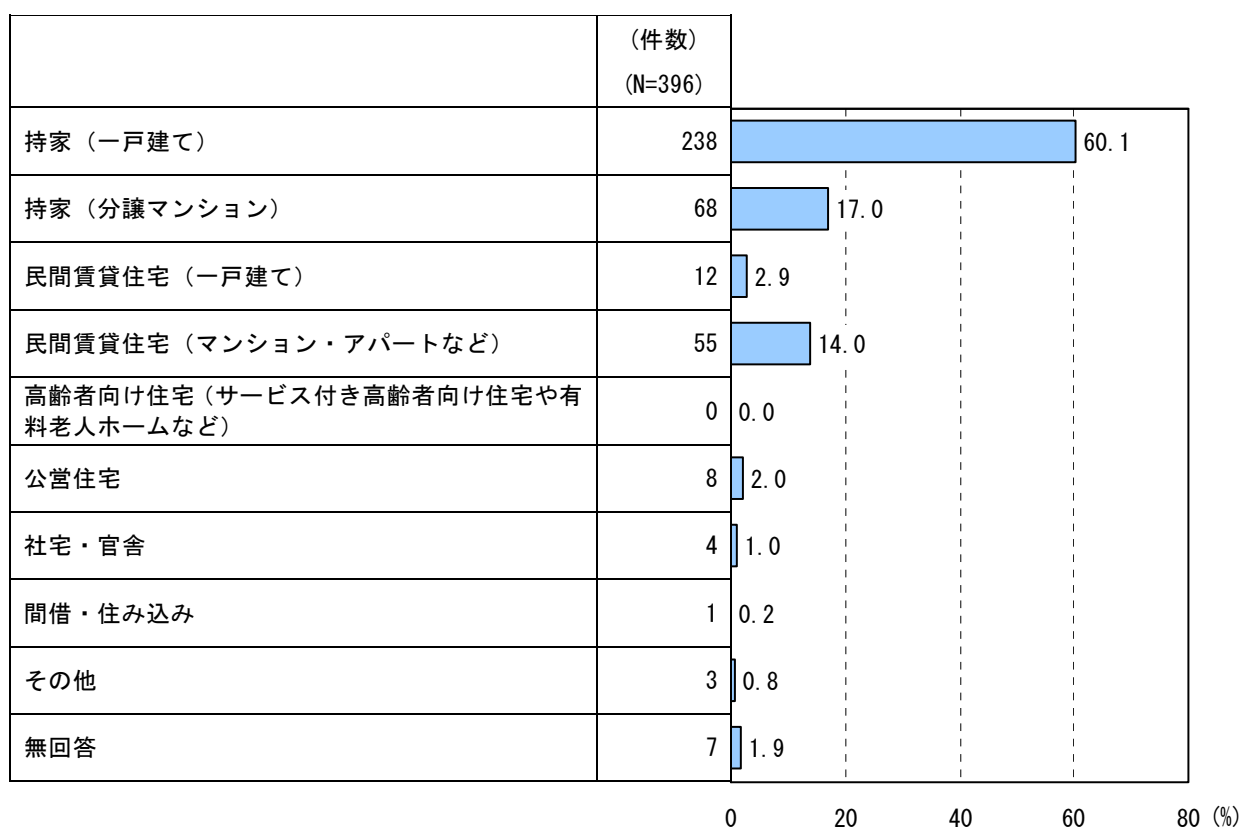
(1) 住居形態

問2 Q1. あなたの現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。〈○は1つ〉

住居形態については、「持家（一戸建て）」が60.1%で最も高く、次いで「持家（分譲マンション）」が17.0%、「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が14.0%となっています。

家族構成別でみると、単身世帯（ひとり暮らし）は「持家（一戸建て）」が低く、「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が高くなっています。一世代，二世代同居，三世代同居では「持家（一戸建て）」が最も高くなっています。

前回調査との比較では、「持家（一戸建て）」が前回よりも低くなり、「持家（分譲マンション）」、「民間賃貸住宅（マンション・アパート）」が高くなっています。



【家族構成別 住居形態】

(%)

	N	持家（一戸建て）	持家（分譲マンション）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど）	公営住宅	社宅・官舎	間借・住み込み	その他	無回答
単身世帯（ひとり暮らし）	46	12.0	24.3	-	48.2	-	8.9	-	1.6	5.0	-
一世代	89	49.2	24.3	3.6	14.3	-	2.7	2.8	-	-	2.9
二世帯同居	208	70.1	15.2	3.7	8.4	-	0.7	0.7	-	0.4	0.8
三世帯同居	35	95.4	2.5	-	-	-	-	-	-	-	2.1
その他	16	53.5	13.8	4.5	17.6	-	-	-	-	-	10.6

【前回調査との比較】

(%)

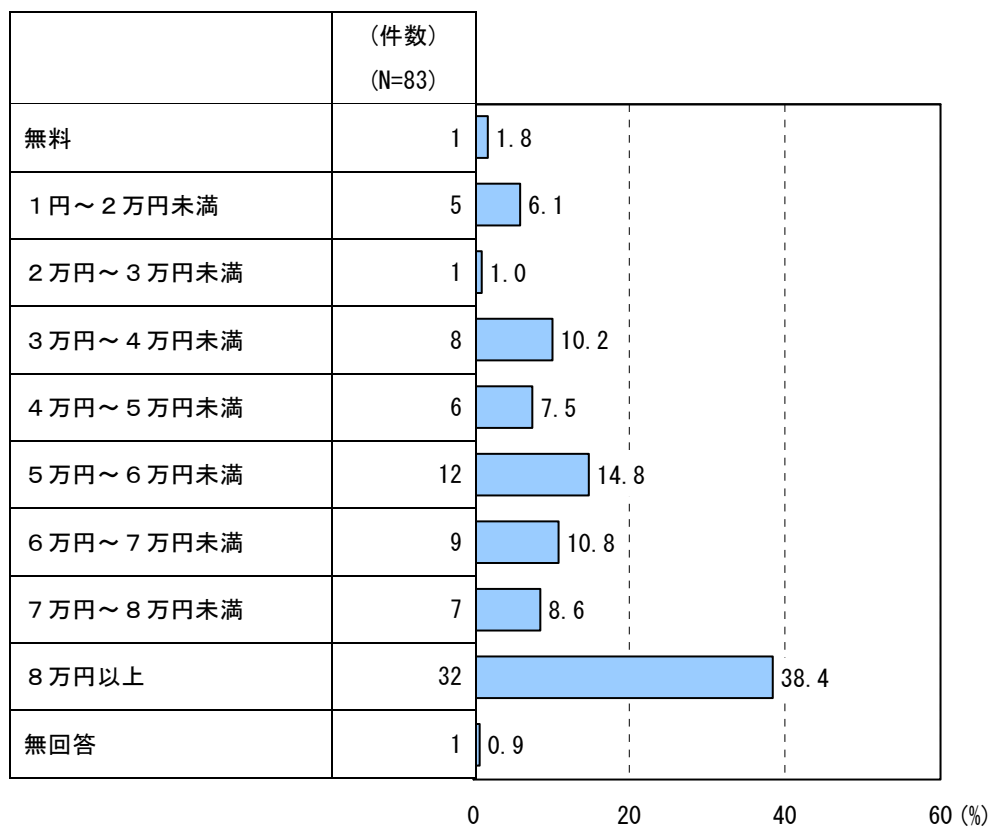
	N	持家（一戸建て）	持家（分譲マンション）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど）	公営住宅	社宅・官舎	間借・住み込み	その他	無回答
平成25年度	396	60.1	17.0	2.9	14.0	-	2.0	1.0	0.2	0.8	1.9
平成22年度	1,387	65.1	13.0	4.0	9.6	-	4.4	1.2	0.5	1.0	1.2

(2) 現在の住まいに係る住居費

【持家以外にお住まいの方のみ】(Q1で「3」～「9」と回答した方)

問2 Q 1 - 1. 現在のお住まいに係る住居費(月額, 共益費含む。)は, 次のどれにあたりますか。<○は1つ>

持家以外に住んでいる人に, 現在の住まいに係る住居費についてたずねたところ, 「8万円以上」が38.4%で最も高く, 次いで「5万円～6万円未満」が14.8%, 「6万円～7万円未満」が10.8%となっています。

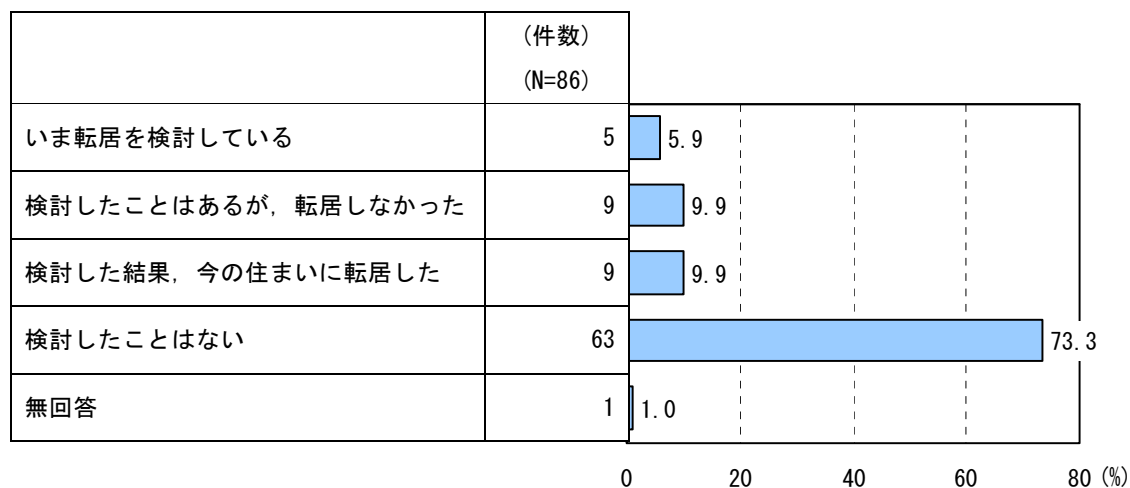


(3) 60歳以上になってからの転居の検討

【60歳以上の方のみ】(60歳未満の方はQ3へ)

問2 Q2. 60歳以上になってから、転居を検討したことがありますか。〈○は1つ〉

60歳以上の人に、60歳以上になってからの転居の検討についてたずねたところ、「検討したことはない」が73.3%で最も高く、次いで「検討したことはあるが、転居しなかった」と「検討した結果、今の住まいに転居した」がともに9.9%となっています。



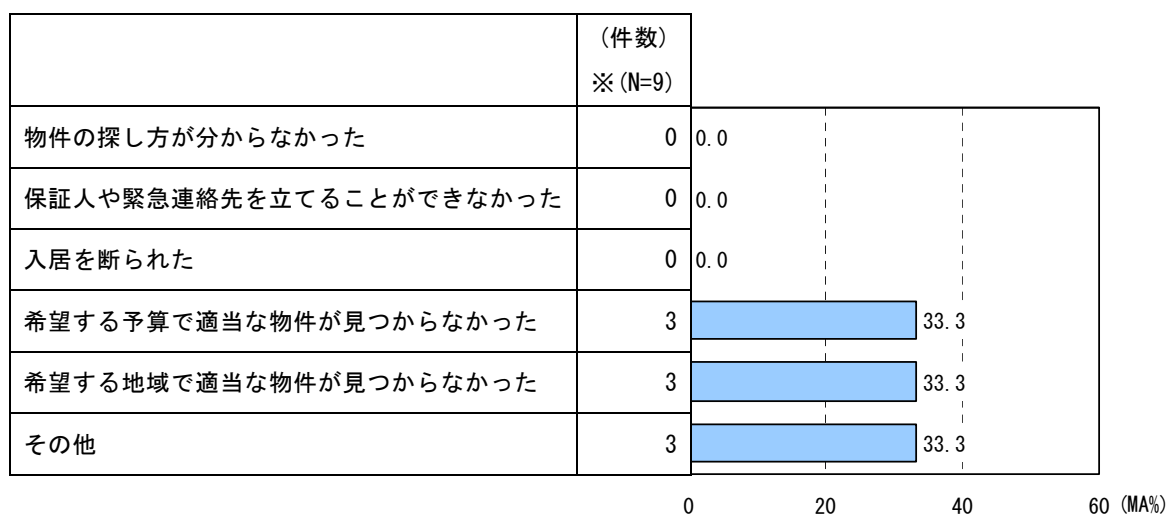
(4) 転居しなかった理由

【検討したが転居しなかった方のみ】(Q2で「2. 検討したことはあるが、転居しなかった」と回答した方)

問2 Q2-1. 転居しなかった理由は、次のどれにあたりますか。

〈あてはまるものすべてに○〉

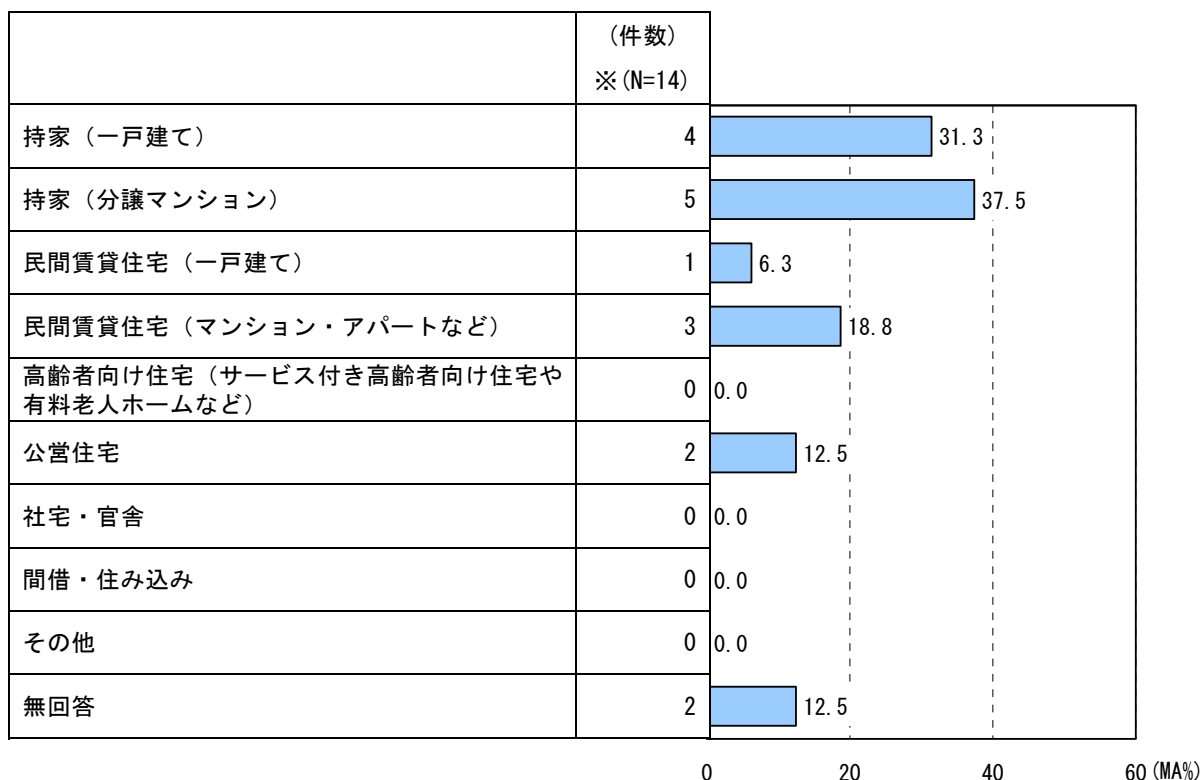
検討したが転居しなかったと回答した人に、その理由についてたずねたところ、「希望する予算で適当な物件が見つからなかった」と「希望する地域で適当な物件が見つからなかった」がともに33.3%となっています。



(5) 転居先としての検討物件

【転居を検討している（検討したが転居しなかった）方のみ】(Q2で「1. いま転居を検討している」または「2. 検討したことはあるが、転居しなかった」と回答した方)
 問2 Q2-2. 転居先として検討している（検討した）物件は、次のどれにあたりますか。〈あてはまるものすべてに○〉

転居を検討していると回答した人に、転居先として検討している（検討した）物件についてたずねたところ、「持家（分譲マンション）」が37.5%で最も高く、次いで「持家（一戸建て）」が31.3%、「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が18.8%となっています。

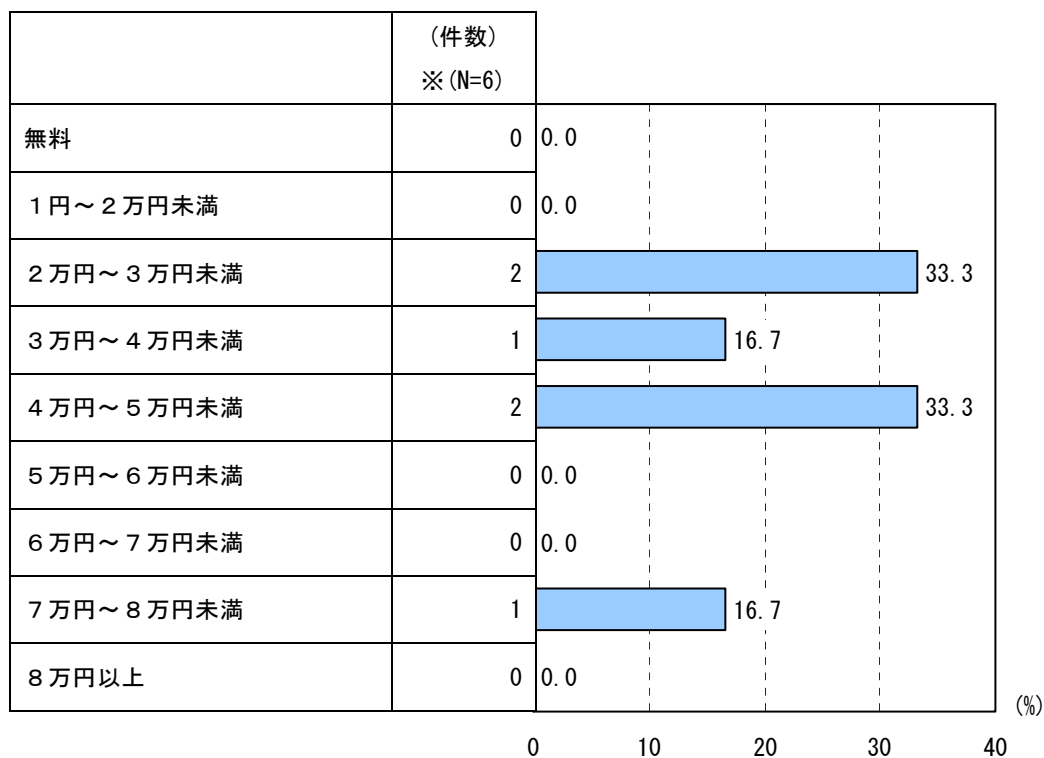


(6) 転居先としての検討物件の住居費

【持家以外への転居を検討している（検討したが転居しなかった）方のみ】(Q2-2で「3」～「9」と回答した方)

問2 Q2-3. 転居先として検討している（検討した）物件の住居費（月額、共益費含む。）は、次のどれにあたりますか。〈〇は1つまで〉

持家以外へ転居を検討していると回答した人に、転居先として検討している（検討した）物件の住居費についてたずねたところ、「2万円～3万円未満」と「4万円～5万円未満」がともに33.3%で最も高くなっています。



(7) 転居前の住まいで困っていたこと

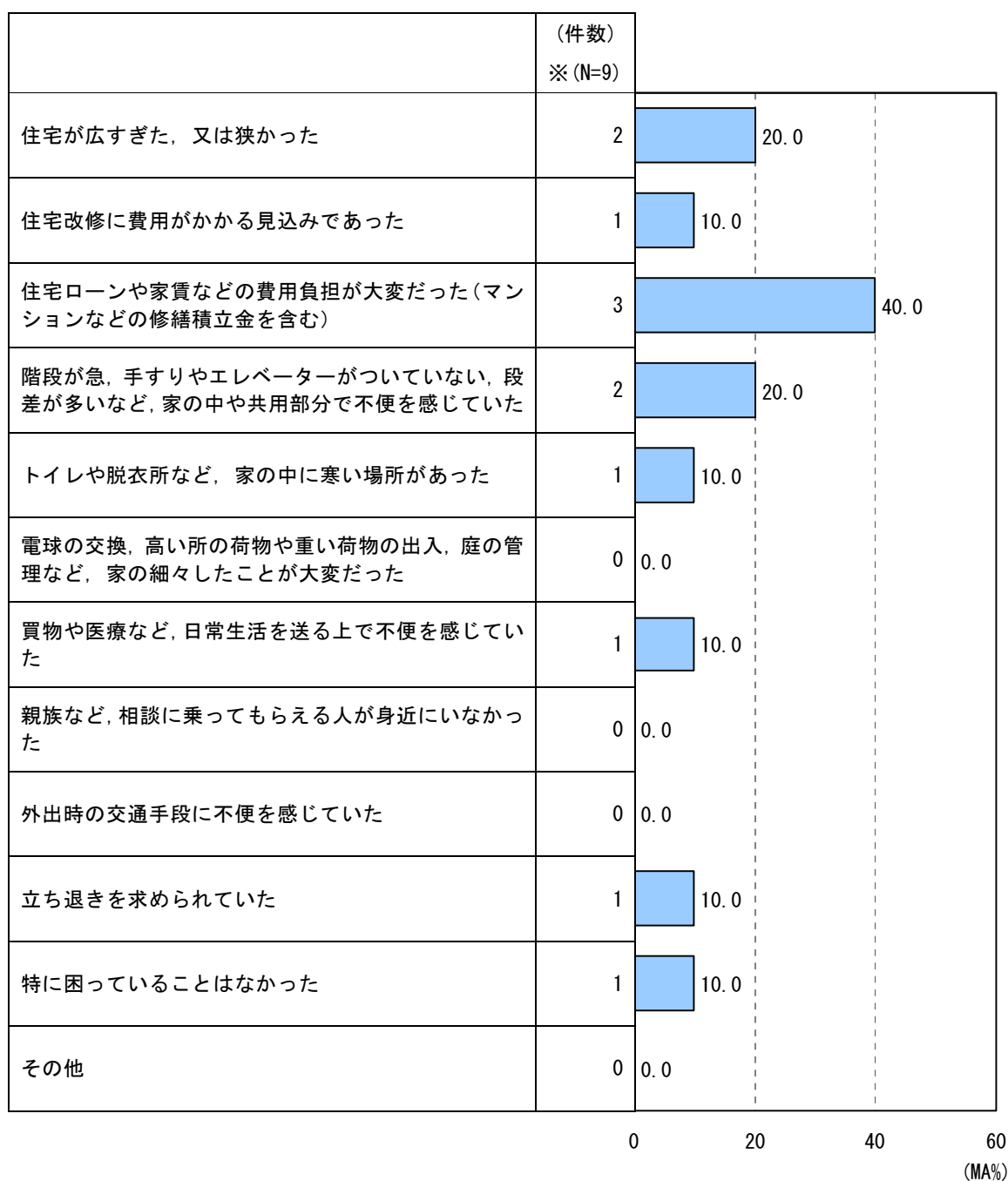
【60歳以上になって転居された方のみ】

(Q2で「3. 検討した結果, 今の住まいに転居した」と回答した方)

問2 Q 2-4. 転居前のお住まいについて, お困りだったことは, 次のどれですか。

〈あてはまるものすべてに○〉

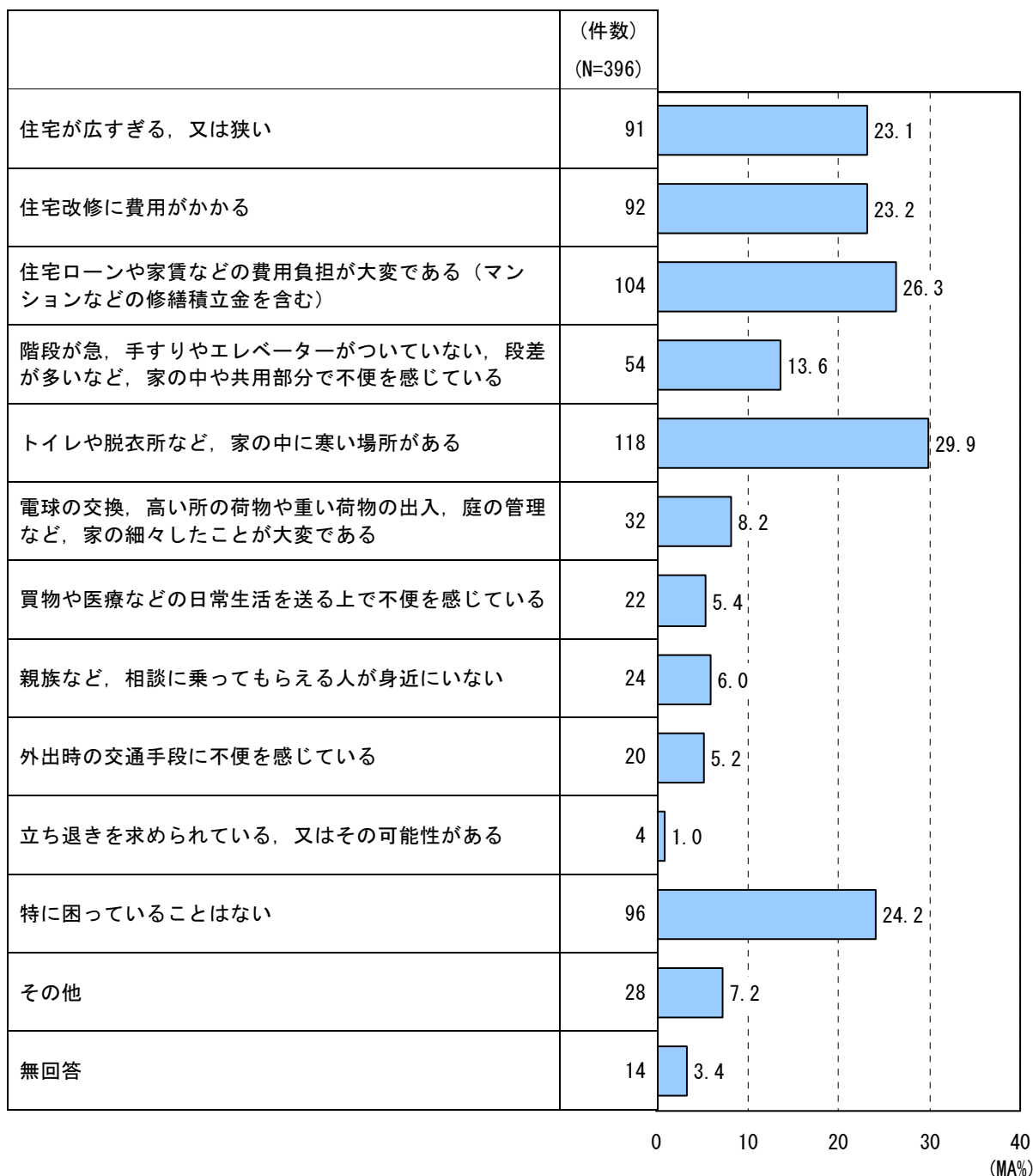
60歳以上になって転居した人に, 転居前の住まいで困っていたことについてたずねたところ, 「住宅ローンや家賃などの費用負担が大変だった(マンションなどの修繕積立金を含む)」が40.0%で最も高く, 次いで「住宅が広すぎた, 又は狭かった」と「階段が急, 手すりやエレベーターがついていない, 段差が多いなど, 家の中や共用部分で不便を感じていた」がともに20.0%となっています。



(8) 現在の住まいで困っていること

問2Q3. 現在のお住まいについてお困りのことは、次のどれですか。
 <あてはまるものすべてに○>

現在の住まいで困っていることについては、「トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある」が29.9%で最も高く、次いで「住宅ローンや家賃などの費用負担が大変である（マンションなどの修繕積立金を含む）」が26.3%、「特に困っていることはない」が24.2%となっています。

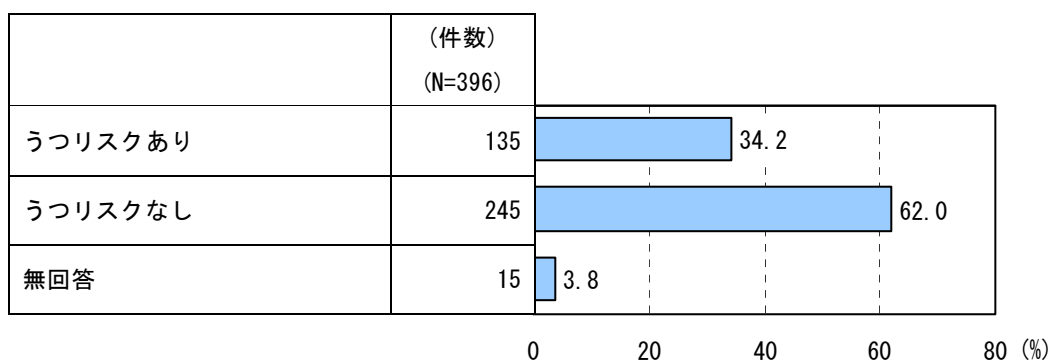


3 リスク評価について

(1) うつ予防

国が示す「日常生活圏域ニーズ調査」の分析方法に基づき、ここ2週間の心身状況について、「充実感がない」「楽しめなくなった」「おっくうに感じられる」「役立つ人間だと思えない」「疲れたような感じがする」と回答した場合は1点、それ以外の回答の場合は0点と得点を設定し合計値を求め、2点以上の場合は「うつリスクあり」、1点以下の場合は「うつリスクなし」として区分しました。その結果、「うつリスクあり」が34.2%、「うつリスクなし」が62.0%となっています。

年齢別でみると、「うつリスクあり」は50～54歳が43.2%で最も高くなっています。



設問	(N=396)
問3Q9. ①毎日の生活に充実感がない (はい)	24.5%
問3Q9. ②これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった (はい)	22.0%
問3Q9. ③以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる (はい)	38.6%
問3Q9. ④自分が役に立つ人間だと思えない (はい)	15.6%
問3Q9. ⑤わけもなく疲れたような感じがする (はい)	33.1%

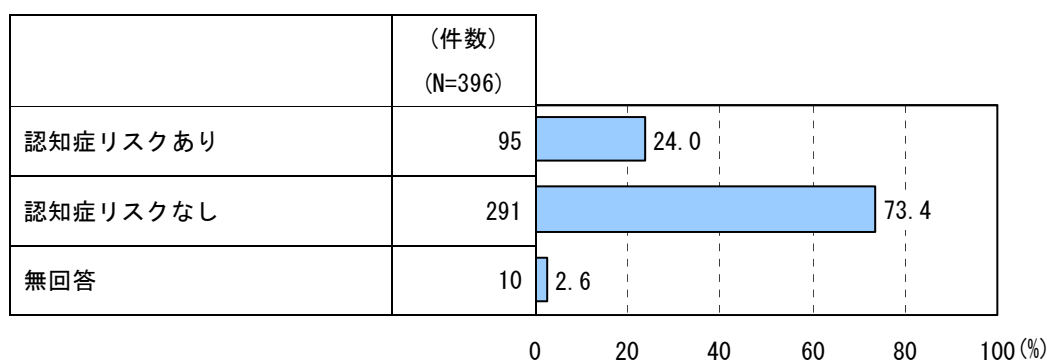
【年齢別 うつリスク】

	N	うつ リスク あり	うつ リスク なし	無 回 答
40～44歳	94	33.3	64.8	1.9
45～49歳	81	35.1	61.4	3.5
50～54歳	70	43.2	55.8	1.1
55～59歳	65	37.1	59.6	3.4
60歳以上	86	24.8	66.3	8.9

(2) 認知症予防

国が示す「日常生活圏域ニーズ調査」の分析方法に基づき、日常生活において「物忘れがあると言われる」「自分で電話番号を調べて電話をかけていない」「何月何日かわからないことがある」と回答した場合は1点、それ以外の回答の場合は0点と得点を設定し合計値を求め、1点以上の場合は「認知症リスクあり」、0点の場合は「認知症リスクなし」として区分しました。その結果、「認知症リスクあり」が24.0%、「認知症リスクなし」が73.4%となっています。

年齢別でみると、「認知症リスクあり」は40～44歳が27.8%で最も高くなっています。



設問	(N=396)
問4 Q 2. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。(はい)	7.5%
問4 Q 3. 他人の手助けを得ずに、自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(いいえ)	6.3%
問4 Q 4. 今日が何月何日かわからない時がありますか。(はい)	13.9%

【年齢別 認知症リスク】

	N	認知症リスクあり	認知症リスクなし	無回答
40～44歳	94	27.8	70.4	1.9
45～49歳	81	24.6	73.7	1.8
50～54歳	70	24.2	73.7	2.1
55～59歳	65	27.0	71.9	1.1
60歳以上	86	16.8	77.2	5.9

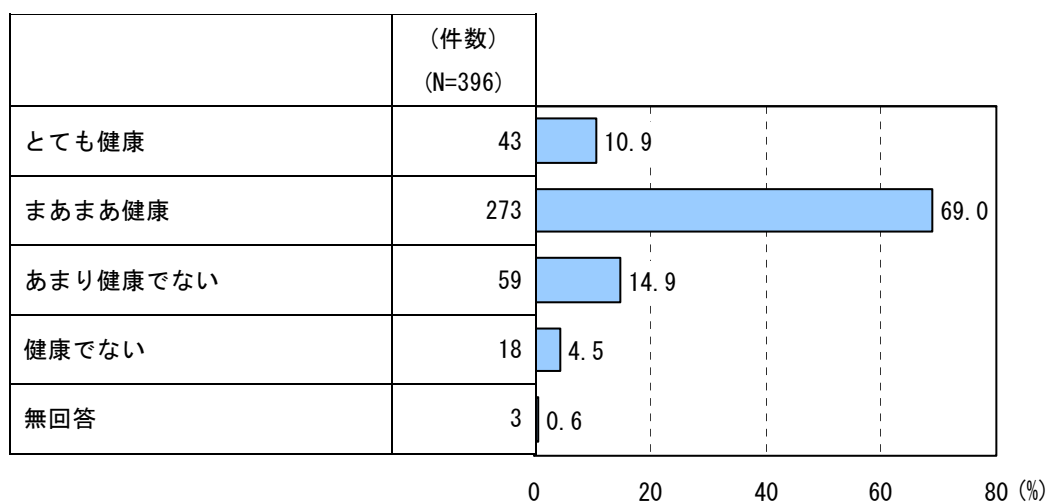
4 健康について

(1) 主観的健康観

問3 Q1. 普段、ご自分で健康だと思いますか。〈〇は1つ〉

普段、自分で健康だと思うかについては、「まあまあ健康」が69.0%で最も高く、次いで「あまり健康でない」が14.9%で、「とても健康」と「まあまあ健康」をあわせた『健康である』は79.9%、「あまり健康でない」と「健康でない」をあわせた『健康でない』は19.4%となっています。

年齢別でみると、『健康でない』は概ね59歳までは年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。



【年齢別 主観的健康観】

	N	(%)				
		とても健康	まあまあ健康	あまり健康でない	健康でない	無回答
40～44歳	94	22.2	61.1	9.3	7.4	-
45～49歳	81	10.5	75.4	10.5	3.5	-
50～54歳	70	9.5	68.4	18.9	3.2	-
55～59歳	65	4.5	67.4	20.2	7.9	-
60歳以上	86	5.0	73.3	17.8	1.0	3.0

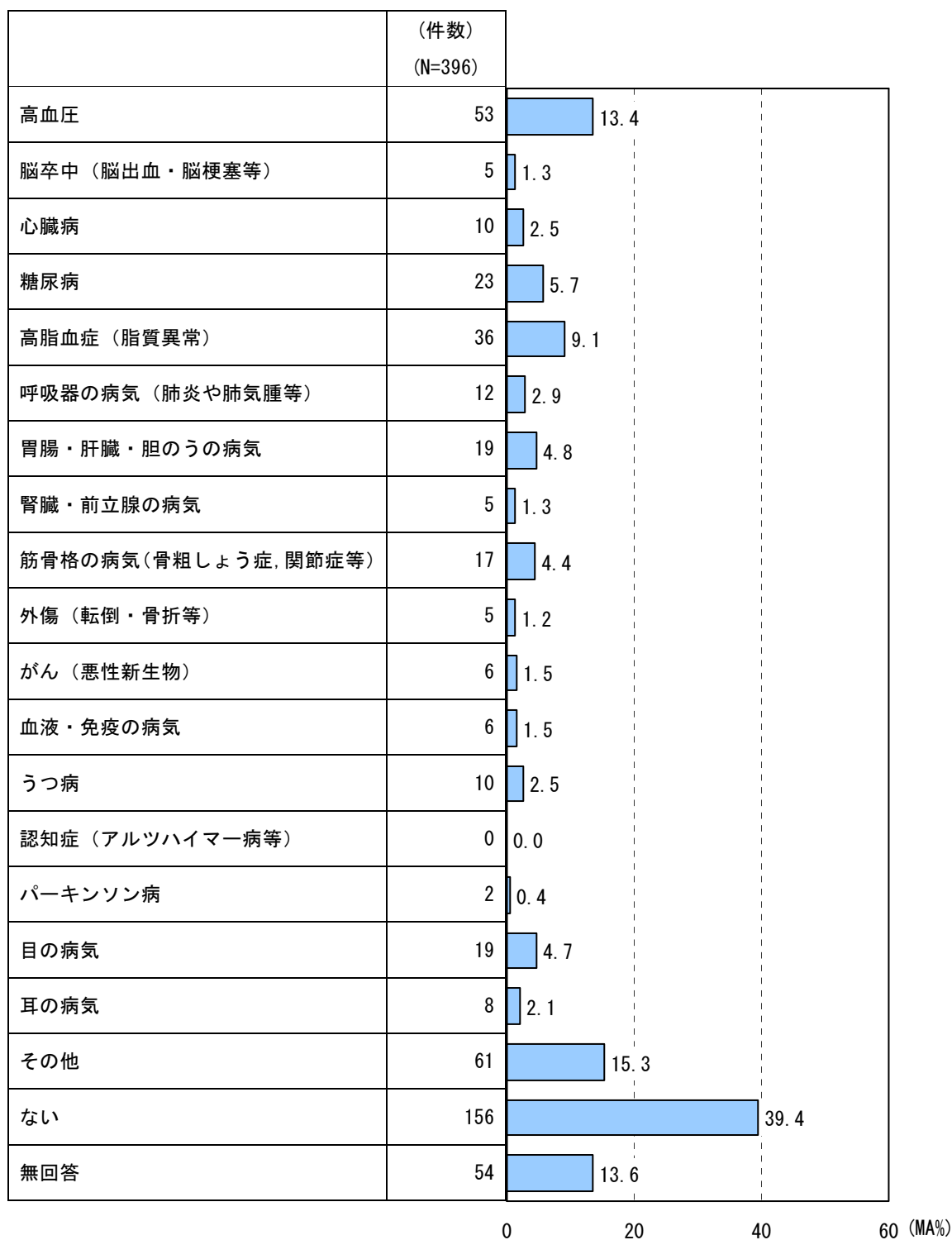
(2) 現在治療中・後遺症のある疾病

問3 Q2. 現在治療中, または後遺症のある病気はありますか。

〈あてはまるものすべてに○〉

現在治療中・後遺症のある疾病については、「ない」が39.4%で最も高く、次いで「高血圧」が13.4%、「高脂血症（脂質異常）」が9.1%となっています。

年齢別でみると、「高血圧」「糖尿病」「高脂血症（脂質異常）」は概ね年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。



【年齢別 現在治療中・後遺症のある疾病】

(MA%)

	N	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や肺気腫等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	しよん症(関節症等)	筋骨格の病気(骨粗しょう症)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	マール病等(アルツハイ)	認知症(アルツハイ)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	無回答
40～44歳	94	1.9	-	-	-	-	1.9	3.7	-	-	1.9	-	-	-	1.9	-	-	-	-	-	18.5	55.6	18.5
45～49歳	81	5.3	1.8	-	3.5	8.8	1.8	-	1.8	8.8	-	3.5	1.8	3.5	3.5	-	-	3.5	1.8	8.8	47.4	17.5	
50～54歳	70	13.7	-	7.4	8.4	7.4	-	3.2	1.1	2.1	-	1.1	4.2	3.2	-	-	-	1.1	2.1	11.6	45.3	12.6	
55～59歳	65	23.6	4.5	4.5	5.6	15.7	7.9	9.0	2.2	4.5	3.4	1.1	-	4.5	-	1.1	10.1	5.6	23.6	20.2	11.2		
60歳以上	86	25.7	1.0	2.0	11.9	15.8	4.0	8.9	2.0	6.9	1.0	2.0	2.0	-	-	1.0	9.9	2.0	14.9	23.8	6.9		

(3) 健康について相談や指導を受けられる人の有無

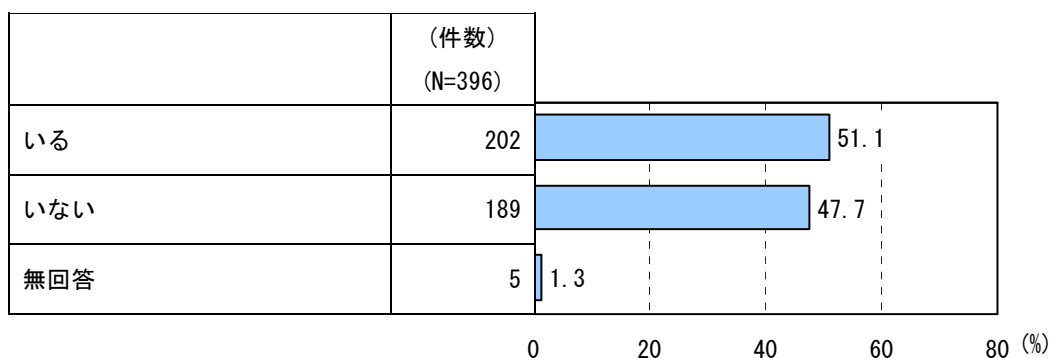
問3 Q3. ふだんから健康について相談や指導を受けられる以下のような人はいますか。
 <①から③までそれぞれ〇は1つつつ>

① かかりつけ医

健康について相談や指導を受けられる人の有無については、かかりつけ医は、「いる」が51.1%、「いない」が47.7%となっています。

年齢別でみると、「いる」は年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。

前回調査との比較では、「いない」が前回よりも4.9ポイント高くなっています。



【年齢別 かかりつけ医の有無】

	N	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
40～44歳	94	33.3	66.7	-
45～49歳	81	45.6	49.1	5.3
50～54歳	70	49.5	50.5	-
55～59歳	65	65.2	34.8	-
60歳以上	86	66.3	32.7	1.0

【前回調査との比較】

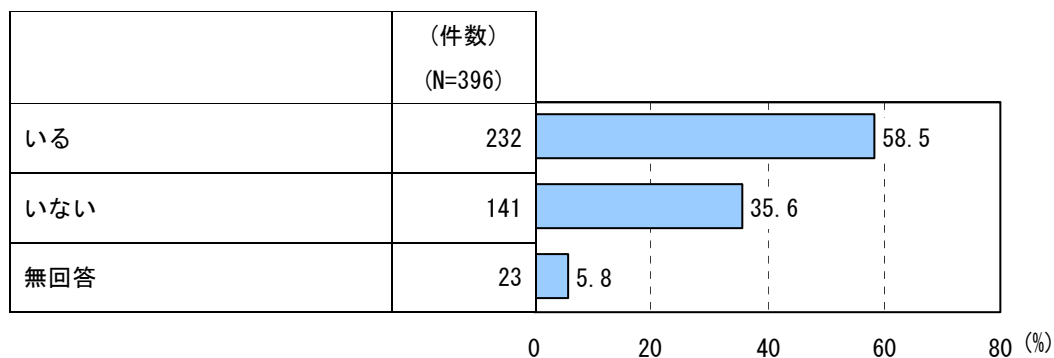
	N	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
平成25年度	396	51.1	47.7	1.3
平成22年度	1,387	54.9	42.8	2.2

② かかりつけ歯科医

かかりつけ歯科医については、「いる」が58.5%、「いない」が35.6%となっています。

年齢別で見ると、「いる」は概ね年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。

前回調査との比較では、傾向に大きな差異は見られません。



【年齢別 かかりつけ歯科医の有無】 (%)

	N	いる	いない	無回答
40～44歳	94	51.9	46.3	1.9
45～49歳	81	49.1	43.9	7.0
50～54歳	70	64.2	28.4	7.4
55～59歳	65	67.4	28.1	4.5
60歳以上	86	63.4	27.7	8.9

【前回調査との比較】 (%)

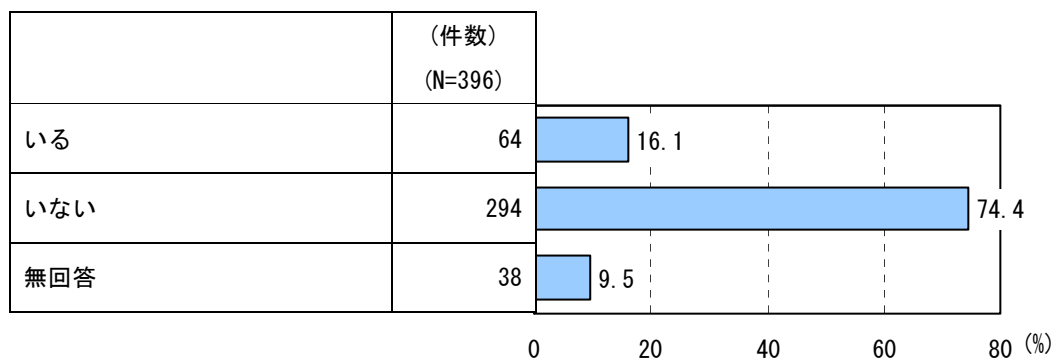
	N	いる	いない	無回答
平成25年度	396	58.5	35.6	5.8
平成22年度	1,387	58.4	35.8	5.8

③ かかりつけ薬剤師

かかりつけ薬剤師については、「いる」が16.1%、「いない」が74.4%となっています。

年齢別でみると、「いる」は年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。

前回調査との比較では、傾向に大きな差異は見られません。



【年齢別 かかりつけ薬剤師の有無】

	N	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
40～44歳	94	9.3	88.9	1.9
45～49歳	81	12.3	75.4	12.3
50～54歳	70	17.9	69.5	12.6
55～59歳	65	21.3	73.0	5.6
60歳以上	86	21.8	62.4	15.8

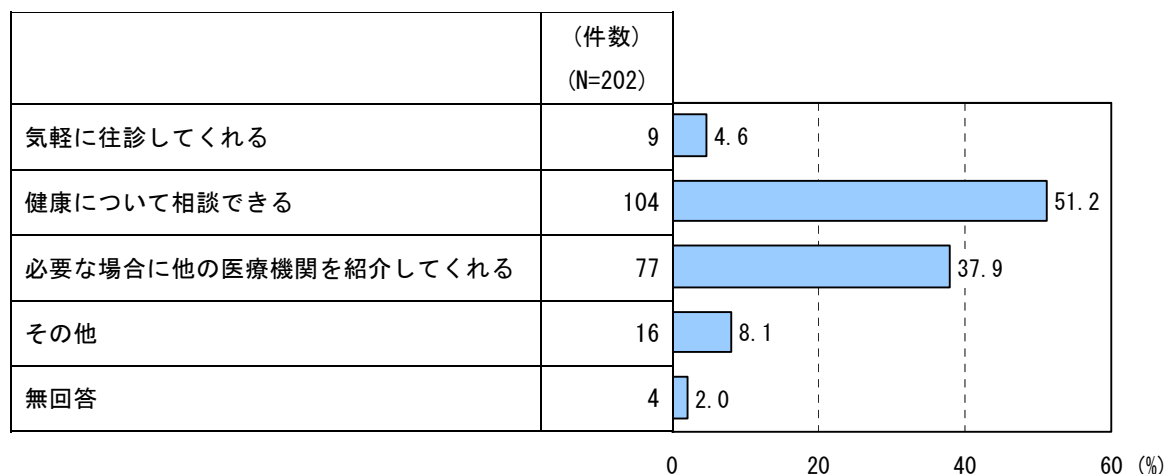
【前回調査との比較】

	N	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
平成25年度	396	16.1	74.4	9.5
平成22年度	1,387	15.7	76.4	7.9

(4) かかりつけ医とのつながり

【かかりつけ医がいる方のみ】(Q3①で「1. はい」と回答した方)
問3 Q3-1. かかりつけ医はどのような方ですか。〈〇は1つ〉

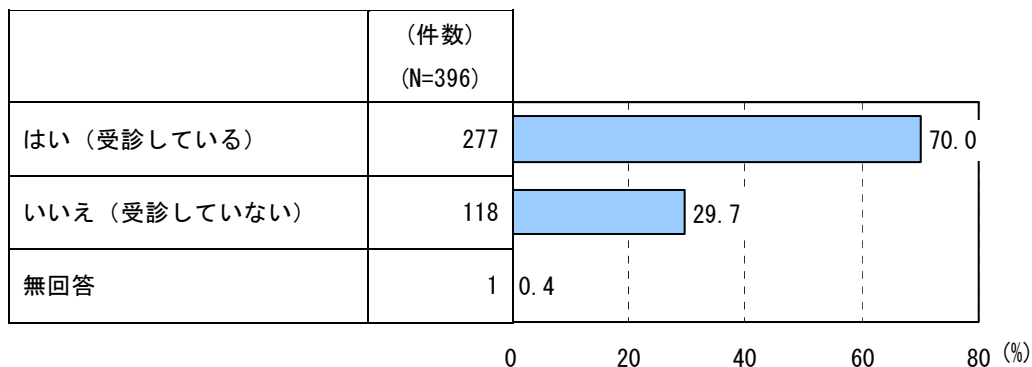
かかりつけ医がいると回答した人に、かかりつけ医とのつながりについてたずねたところ、「健康について相談できる」が51.2%で最も高く、次いで「必要な場合に他の医療機関を紹介してくれる」が37.9%となっています。



(5) 定期的な健康診断の受診有無

問3 Q4. 定期的に健康診断を受診していますか。〈〇は1つ〉

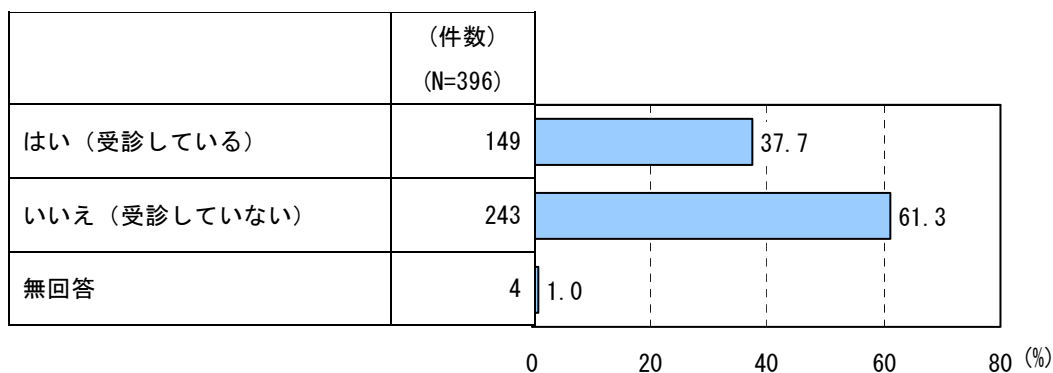
定期的な健康診断の受診有無については、「はい（受診している）」が70.0%、「いいえ（受診していない）」が29.7%となっています。



(6) 定期的な歯科受診の有無

問3 Q5. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。〈〇は1つ〉

定期的な歯科受診の有無については、「はい（受診している）」が37.7%、「いいえ（受診していない）」が61.3%となっています。

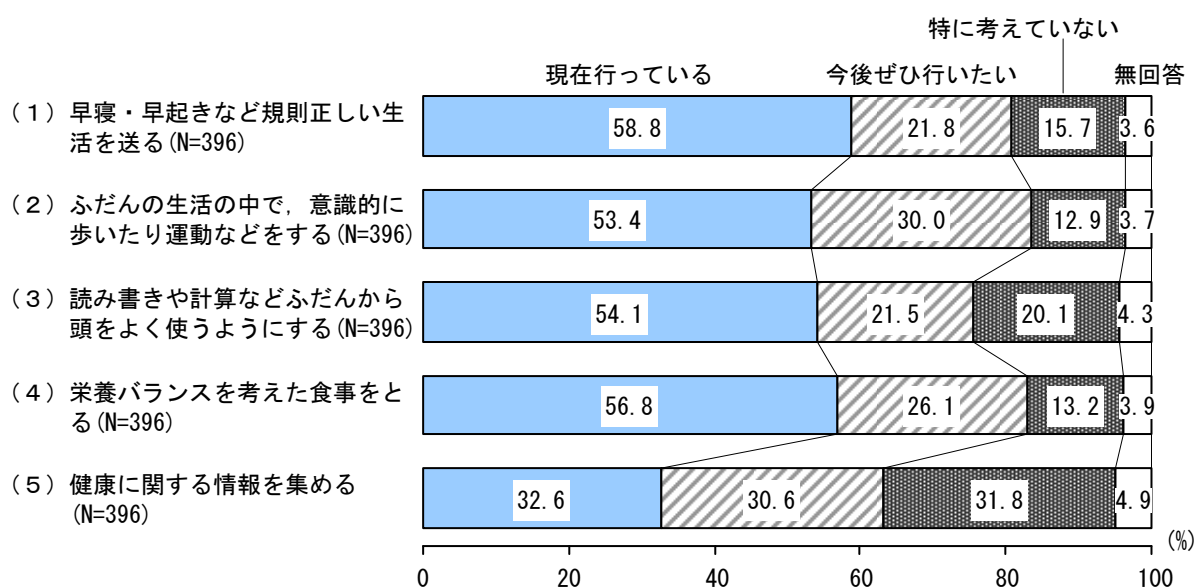


(7) 病気の予防や健康づくりのための取組状況

問3Q6. 以下のような病気の予防や健康づくりのための取組を現在行っていますか。また行っていない場合は、今後どのように考えていますか。
 <(1)から(5)までそれぞれ〇は1つずつ>

病気の予防や健康づくりのための取組状況については、「現在行っている」は“(5)健康に関する情報を集める”(32.6%)以外で50%以上と高くなっています。「今後ぜひ行いたい」は“(2)ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする”“(5)健康に関する情報を集める”が30%以上と高くなっています。「特に考えていない」は“(5)健康に関する情報を集める”が30%以上と高くなっています。

前回調査との比較では、いずれの項目も大きな差異は見られません。



【前回調査との比較】

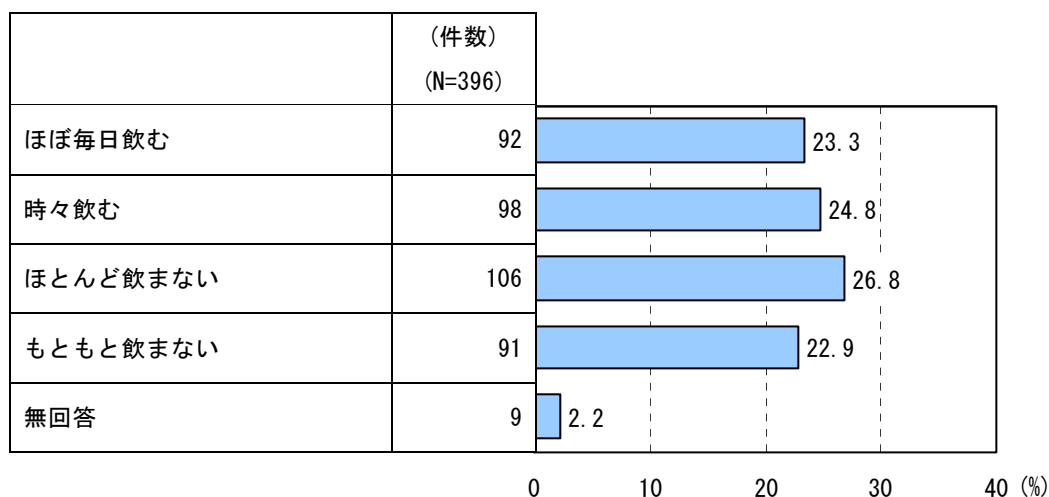
		N	現在行っている	今後ぜひ行いたい	特に考えていない	無回答
(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る	平成25年度	396	58.8	21.8	15.7	3.6
	平成22年度	1,387	55.1	21.8	19.8	3.3
(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする	平成25年度	396	53.4	30.0	12.9	3.7
	平成22年度	1,387	52.9	28.5	15.9	2.7
(3) 読み書きや計算などふだんから頭をよく使うようにする	平成25年度	396	54.1	21.5	20.1	4.3
	平成22年度	1,387	55.0	20.9	20.7	3.4
(4) 栄養バランスを考えた食事をとる	平成25年度	396	56.8	26.1	13.2	3.9
	平成22年度	1,387	57.8	24.2	15.2	2.9
(5) 健康に関する情報を集める※	平成25年度	396	32.6	30.6	31.8	4.9
	平成22年度	1,387	30.4	21.9	43.8	4.0

※平成22年度は「健康に関する情報を集めたり健康教室に参加する」

(8) 飲酒習慣

問3 Q7. お酒は飲みますか。〈〇は1つ〉

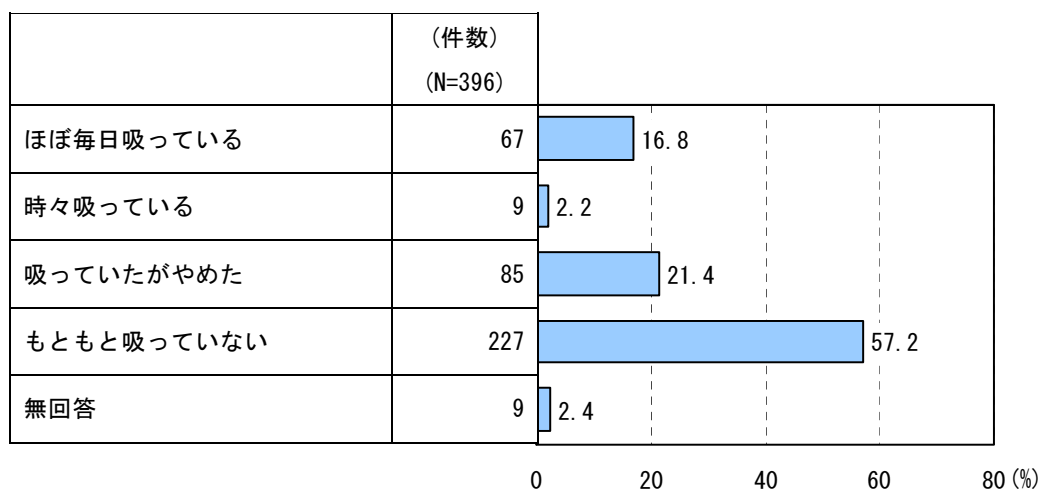
飲酒については、「ほとんど飲まない」が26.8%で最も高く、次いで「時々飲む」が24.8%、「ほぼ毎日飲む」が23.3%で、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」をあわせた『飲む』は48.1%、「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」をあわせた『飲まない』は49.7%となっています。



(9) 喫煙習慣

問3 Q8. タバコは吸っていますか。〈〇は1つ〉

喫煙については、「もともと吸っていない」が57.2%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が21.4%、「ほぼ毎日吸っている」が16.8%で、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」をあわせた『吸っている』は19.0%、「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」をあわせた『吸っていない』は78.6%となっています。



5 日常生活について

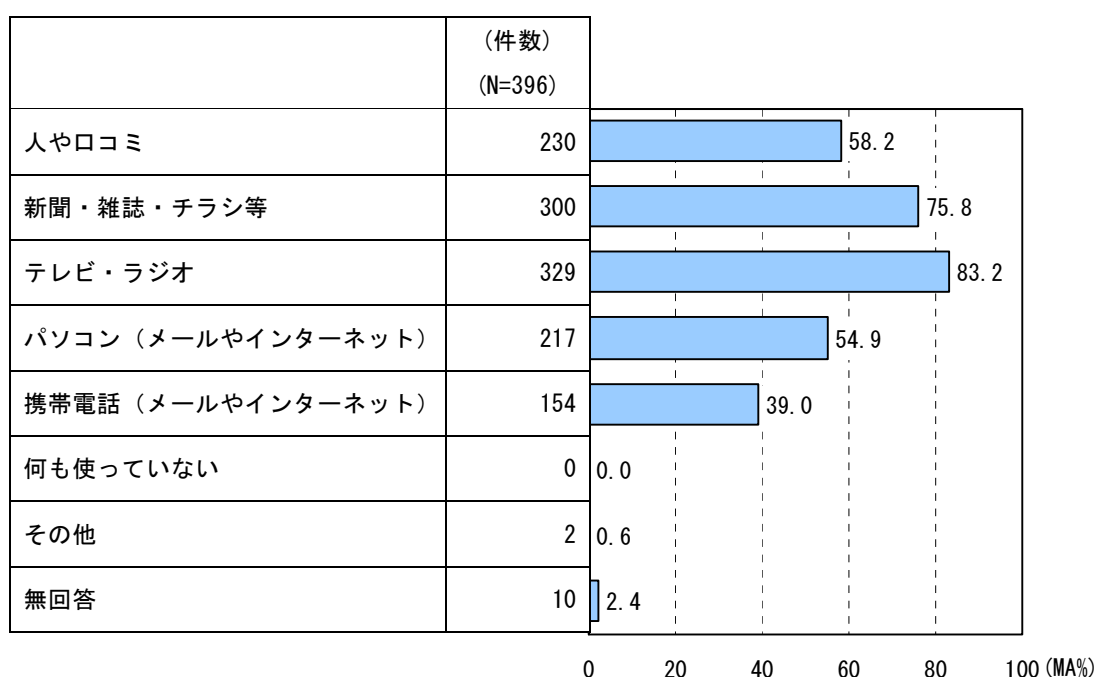
(1) 生活に必要な情報の入手手段

問4 Q1. ふだん生活に必要な情報をどのように入手していますか。
 <あてはまるものすべてに○>

生活に必要な情報の入手方法については、「テレビ・ラジオ」が83.2%で最も高く、次いで「新聞・雑誌・チラシ等」が75.8%、「人や口コミ」が58.2%となっています。

年齢別でみると、「新聞・雑誌・チラシ等」「テレビ・ラジオ」は概ね年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。「パソコン（メールやインターネット）」「携帯電話（メールやインターネット）」は年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。

前回調査と比較すると、「新聞・雑誌・チラシ等」は前回よりも低く、一方で「パソコン（メールやインターネット）」「携帯電話（メールやインターネット）」が高くなっています。



【年齢別 生活に必要な情報の入手手段】

	N	人や 口コミ	新聞・ 雑誌・ チ ラシ 等	テレ ビ・ ラジ オ	パソ コン （メ ール やイ ンタ ーネ ット）	携帯 電話 （メ ール やイ ンタ ーネ ット）	い も 使 っ て い な い	そ の 他	無 回 答
40～44歳	94	70.4	68.5	74.1	66.7	57.4	-	1.9	1.9
45～49歳	81	47.4	71.9	80.7	66.7	49.1	-	-	1.8
50～54歳	70	66.3	75.8	88.4	58.9	36.8	-	-	2.1
55～59歳	65	46.1	76.4	88.8	49.4	24.7	-	1.1	1.1
60歳以上	86	57.4	87.1	87.1	31.7	21.8	-	-	5.0

【前回調査との比較】

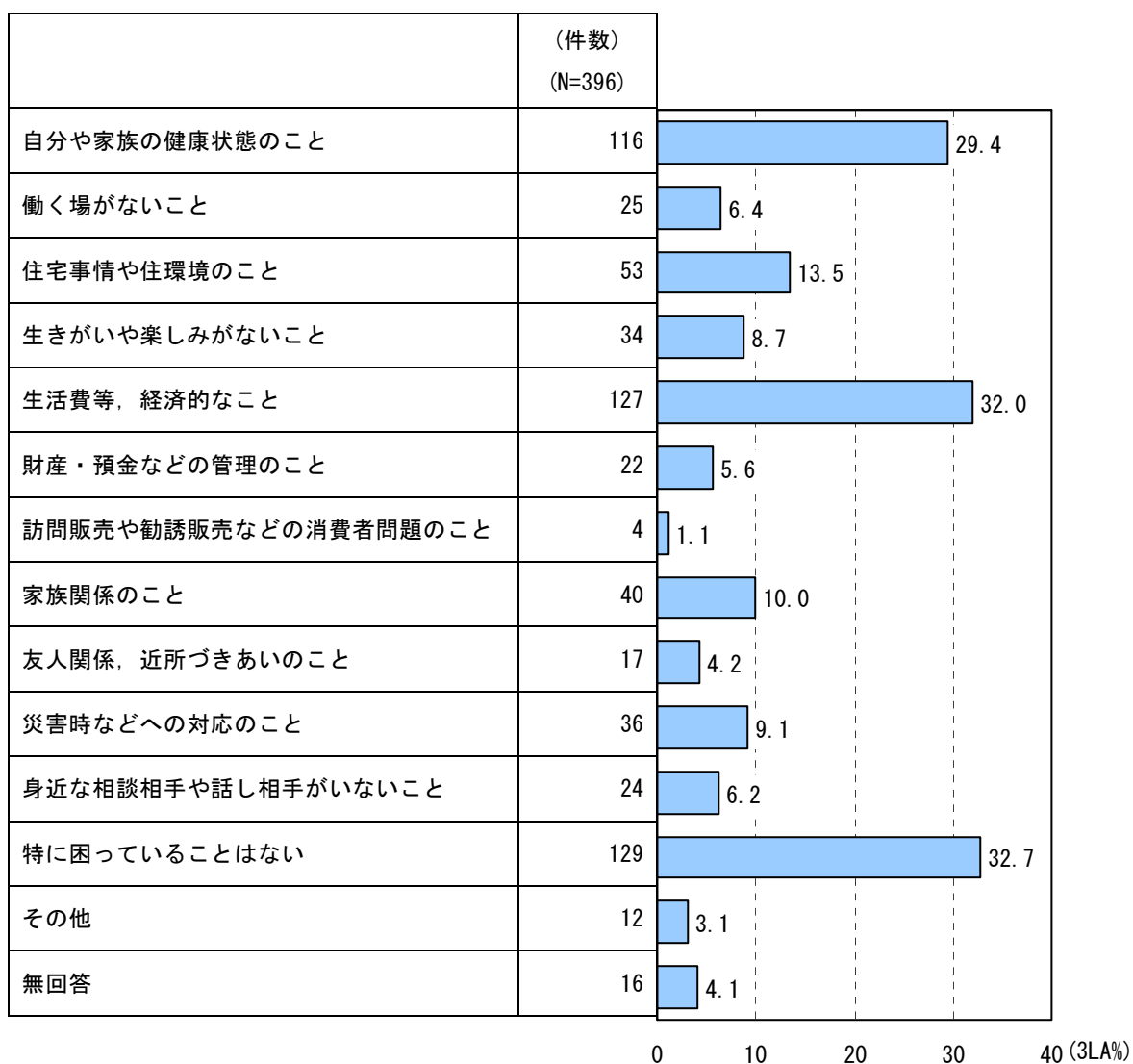
	N	人 や ロ コ ミ	新 聞 ・ 雑 誌 ・ チ ラ シ 等	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	ネ ッ ト や パ ソ ン コ ン タ ー (メ ー ル)	携 帯 電 話 (メ ー ル)	い 何 も 使 っ て い な い	そ の 他	(MA%) 無 回 答
平成25年度	396	58.2	75.8	83.2	54.9	39.0	-	0.6	2.4
平成22年度	1,387	58.7	80.9	81.6	46.4	19.0	1.2	0.5	4.1

(2) 今の生活で困っていること

問4 Q5. あなたは今の生活で何か困っていることがありますか。〈〇は3つまで〉

今の生活で困っていることについては、「特に困っていることはない」が32.7%で最も高く、次いで「生活費等，経済的なこと」が32.0%，「自分や家族の健康状態のこと」が29.4%となっています。

年齢別でみると、45歳～59歳は「自分や家族の健康状態のこと」や「生活費等，経済的なこと」の割合が40歳～44歳・60歳以上よりも高くなっています。40歳～44歳・60歳以上では45歳～59歳よりも「特に困っていることはない」が高くなっています。



【年齢別 今の生活で困っていること】

(31A%)

	N	自分や家族の健康状態	働く場がないこと	住宅事情や住環境のこと	生きがいや楽しみがないこと	生活費等、経済的なこと	財産・預金などの管理のこと	訪問販売や勧誘販売などの消費者問題のこと	家族関係のこと	友人関係、近所づきあいのこと	災害時などへの対応のこと	身近な相談相手や話し相手がないこと	特に困っていることはない	その他	無回答
40～44歳	94	16.7	3.7	18.5	11.1	24.1	9.3	-	9.3	1.9	13.0	9.3	37.0	5.6	5.6
45～49歳	81	31.6	7.0	8.8	8.8	38.6	3.5	3.5	8.8	10.5	8.8	5.3	26.3	1.8	1.8
50～54歳	70	32.6	7.4	14.7	8.4	32.6	6.3	2.1	12.6	1.1	15.8	6.3	28.4	-	4.2
55～59歳	65	43.8	7.9	18.0	10.1	42.7	6.7	-	18.0	3.4	4.5	5.6	27.0	4.5	1.1
60歳以上	86	27.7	6.9	7.9	5.0	25.7	2.0	-	4.0	4.0	3.0	4.0	41.6	3.0	6.9

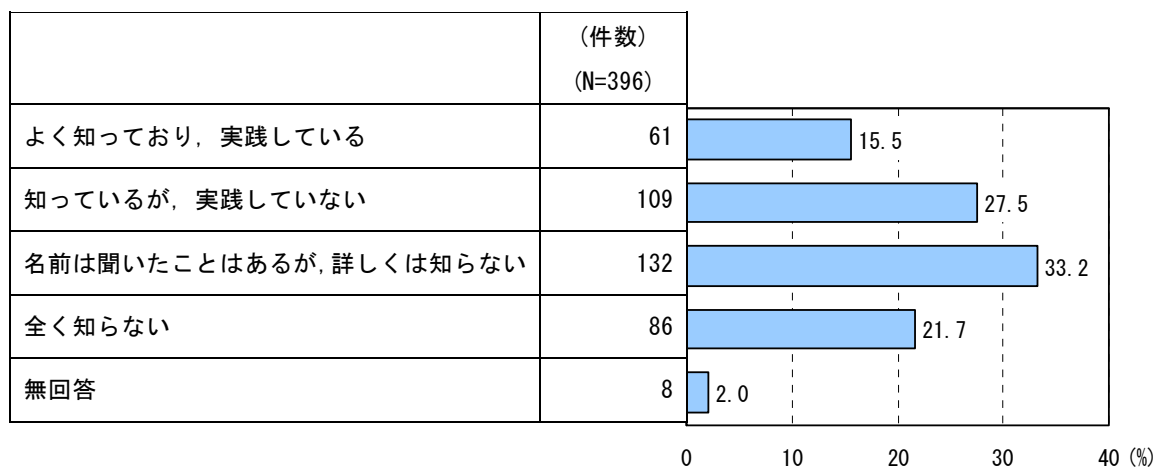
(3) 介護予防の認知状況

問4 Q6. 介護予防とは、なるべく要介護状態にならないように、また、介護が必要な人も、それ以上状態を悪化させないようにする取組のことです。このことについて、あなたはご存知でしたか。また、介護予防を実践していますか。
 <○は1つ>

介護予防の認知状況については、「名前は聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が33.2%で最も高く、次いで「知っているが、実践していない」が27.5%、「全く知らない」が21.7%となっています。

年齢別でみると、40歳～44歳では「よく知っており、実践している」が3.7%で最も低く、60歳以上では28.7%で最も高くなっています。「全く知らない」は年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。

前回調査との比較では、「よく知っており、実践している」「知っているが、実践していない」「名前は聞いたことはあるが、詳しくは知らない」はいずれも前回よりも高く、「全く知らない」は前回よりも14.8ポイント低くなっています。



【年齢別 介護予防の認知状況】

(%)

	N	よく知っているが、実践	知っているが、実践	名前が聞いたことは知らない、詳しくは知らない	全く知らない	無回答
40～44歳	94	3.7	25.9	35.2	33.3	1.9
45～49歳	81	15.8	28.1	31.6	22.8	1.8
50～54歳	70	11.6	33.7	34.7	18.9	1.1
55～59歳	65	19.1	32.6	30.3	16.9	1.1
60歳以上	86	28.7	19.8	33.7	13.9	4.0

【前回調査との比較】

(%)

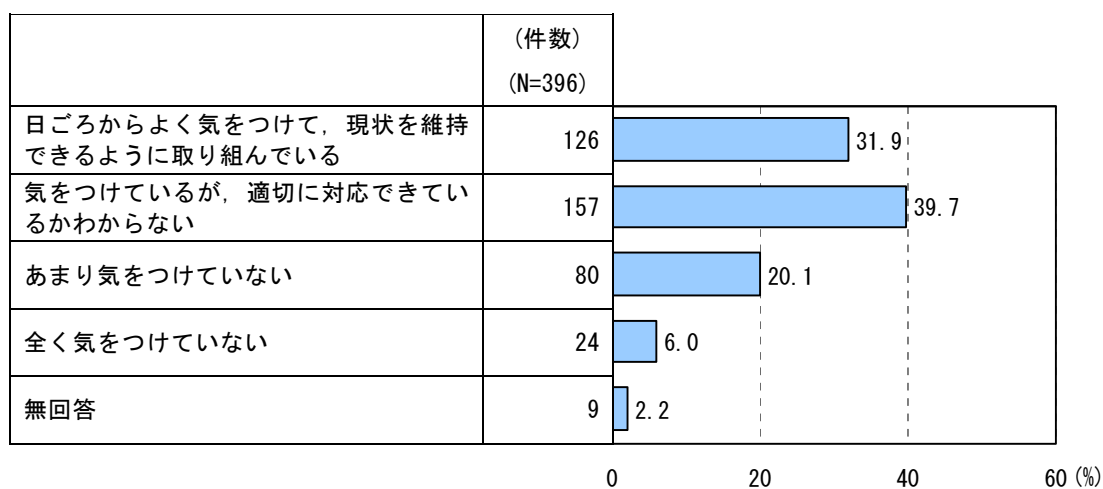
	N	よく知っているが、実践	知っているが、実践	名前が聞いたことは知らない、詳しくは知らない	全く知らない	無回答
平成25年度	396	15.5	27.5	33.2	21.7	2.0
平成22年度	1,387	9.0	23.4	27.7	36.5	3.4

(4) 心身の変化への配慮や改善の取組状況

問4 Q7. あなたは日ごろ、ご自分の心身の変化（足腰のおとろえなど）に気を配り、早めに改善していますか。〈○は1つ〉

心身の変化への配慮や改善の取組状況については、「気をつけているが、適切に対応できているかわからない」が39.7%で最も高く、次いで「日ごろからよく気をつけて、現状を維持できるように取り組んでいる」が31.9%、「あまり気をつけていない」が20.1%となっています。「あまり気をつけていない」と「全く気をつけていない」をあわせた『気をつけていない』は26.1%となっています。

年齢別でみると、『気をつけていない』は概ね年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向が見られます。



【年齢別 心身の変化への配慮や改善の取組状況】

	N	に日 取現 組状 をか ん維 で持 いで きる よつ うけ	らに な対 い応 でけ てい るが か、 わ適 か切	あ ま り 気 を つ け て い な い	全 く 気 を つ け て い な い	無 回 答
40～44歳	94	27.8	31.5	29.6	11.1	-
45～49歳	81	19.3	43.9	24.6	8.8	3.5
50～54歳	70	31.6	44.2	21.1	3.2	-
55～59歳	65	34.8	48.3	14.6	1.1	1.1
60歳以上	86	46.5	34.7	8.9	4.0	5.9

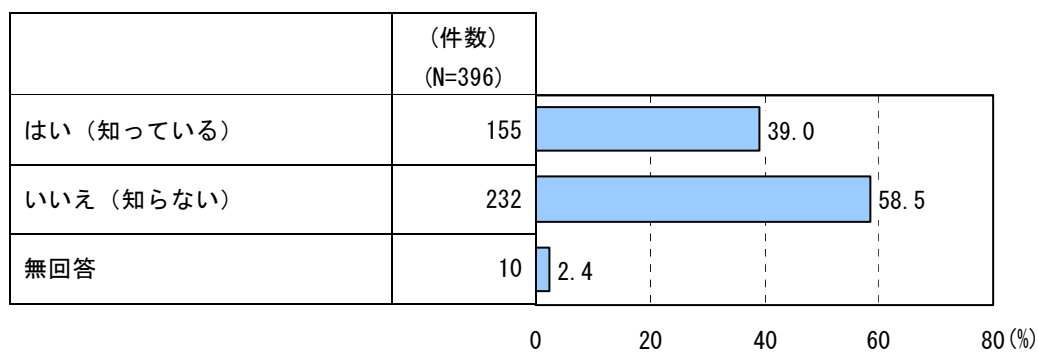
6 介護・介助に対する意識等について

(1) 認知症の方を支援する取組の認知状況

問5 Q1. 認知症の方を支援する取組について知っていますか。〈○は1つ〉

認知症の方を支援する取組の認知状況については、「はい（知っている）」が39.0%、「いいえ（知らない）」が58.5%となっています。

前回調査との比較では、「はい（知っている）」は前回よりも8.7ポイント高くなっています。



【前回調査との比較】

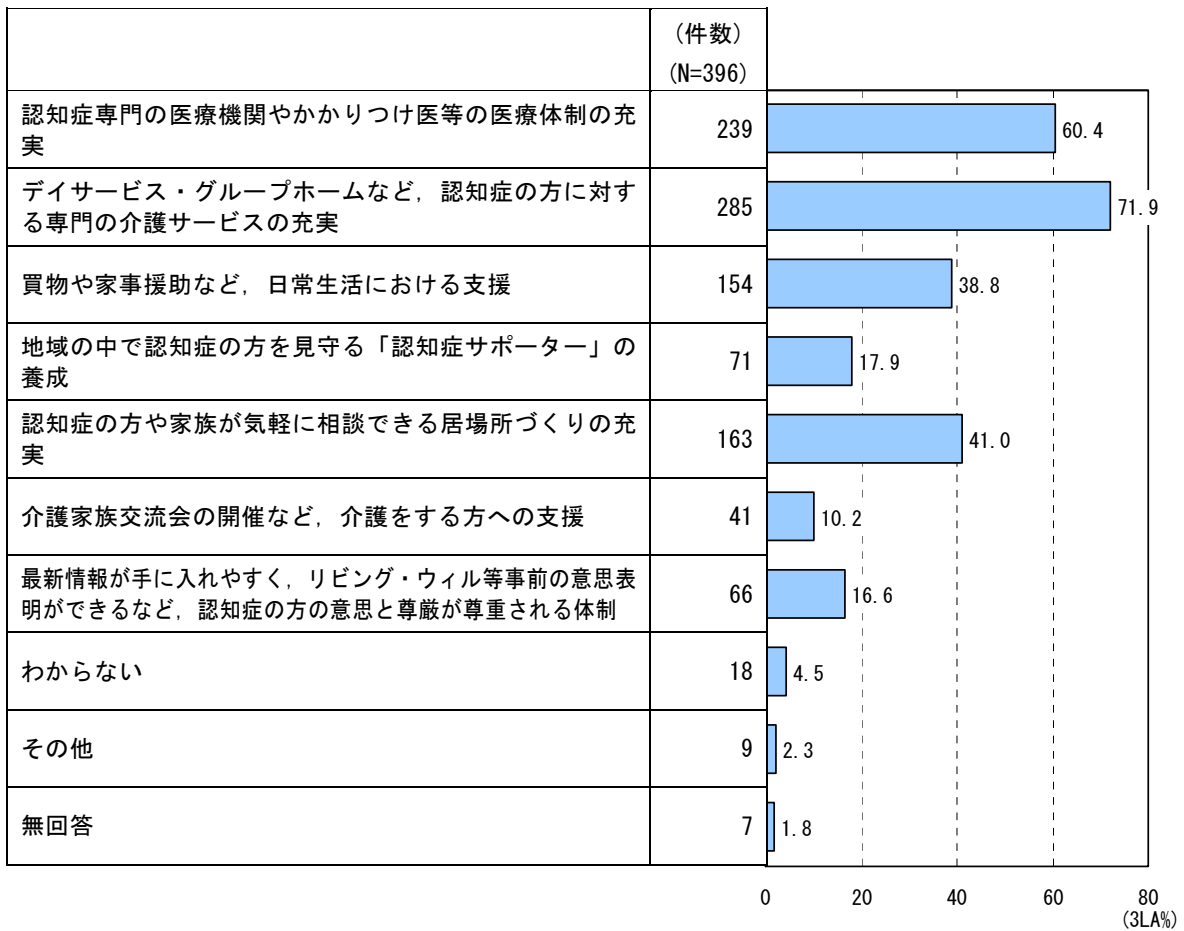
	N	はい （知っている）	いいえ （知らない）	無回答
平成25年度	396	39.0	58.5	2.4
平成22年度	1,387	30.3	65.8	4.0

(2) 認知症になった場合に求める支援

問5 Q2. あなたやあなたの家族が認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。〈〇は3つまで〉

認知症になった場合に求める支援については、「デイサービス・グループホームなど、認知症の方に対する専門の介護サービスの充実」が71.9%で最も高く、次いで「認知症専門の医療機関やかかりつけ医等の医療体制の充実」が60.4%、「認知症の方や家族が気軽に相談できる居場所づくりの充実」が41.0%となっています。

前回調査との比較では、「デイサービス・グループホームなど、認知症の方に対する専門の介護サービスの充実」が31.1ポイント、「買物や家事援助など、日常生活における支援」が11.2ポイント、「地域の中で認知症の方を見守る「認知症サポーター」の養成」が6.9ポイント、それぞれ前回よりも高くなっています。



【前回調査との比較】

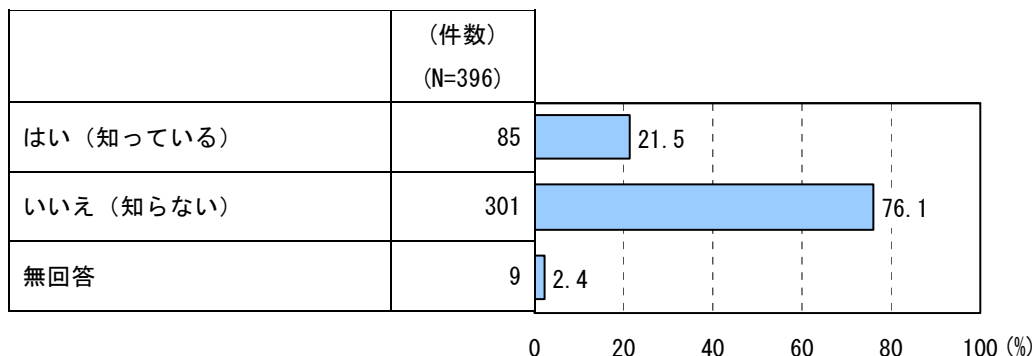
	N	療や認 体か知 制か症 のり専 充つ門 実の医 ※1の療 等機 医関	護のブ サ方ホ ーにー ビ対ム スすな のどス 充専・ 実門認 ※2の知 介症	日買 常物 生や 活家 に事 お援 け助 るな 支ど 援、	ポ ー見 ー域 ー守 ー中 ーで の認 養知 成症 サの 方	づ 軽 に 相 談 の 充 で き る 家 族 居 場 所 が 気 づ か る	認 知 症 の 方 や 家 族 が 気 づ か る	の な 支 援、 家 族 交 流 会 を 流 す の 方 開 催	介 護 交 流 会 の 開 催 な ど、 介 護 を す る 方 へ の 支 援	さ の 意 思 と 尊 厳 が 重 視 さ れ る 体 制	方 の 意 思 と 尊 厳 が 重 視 さ れ る 体 制	で る 事 前 の 意 思 表 明 が 可 能 な 体 制	最 新 情 報 が 手 に 入 れ や す く、 リ ビ ン グ ・ ウ ィ ル 等 事 前 の 意 思 表 明 が 可 能 な 体 制	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
平成25年度	396	60.4	71.9	38.8	17.9	41.0	10.2	16.6	4.5	2.3	1.8					
平成22年度	1,387	61.1	40.8	27.6	11.0	19.3	10.2	0.9	3.2							

※1：平成22年度は「認知症専門の医療機関の充実」
 ※2：平成22年度は「グループホームなど、認知症の方に対する介護サービスの充実」

(3) 若年性認知症を支援する取組の認知状況

問5 Q3. 若年性認知症の方を支援する取組について知っていますか。〈〇は1つ〉

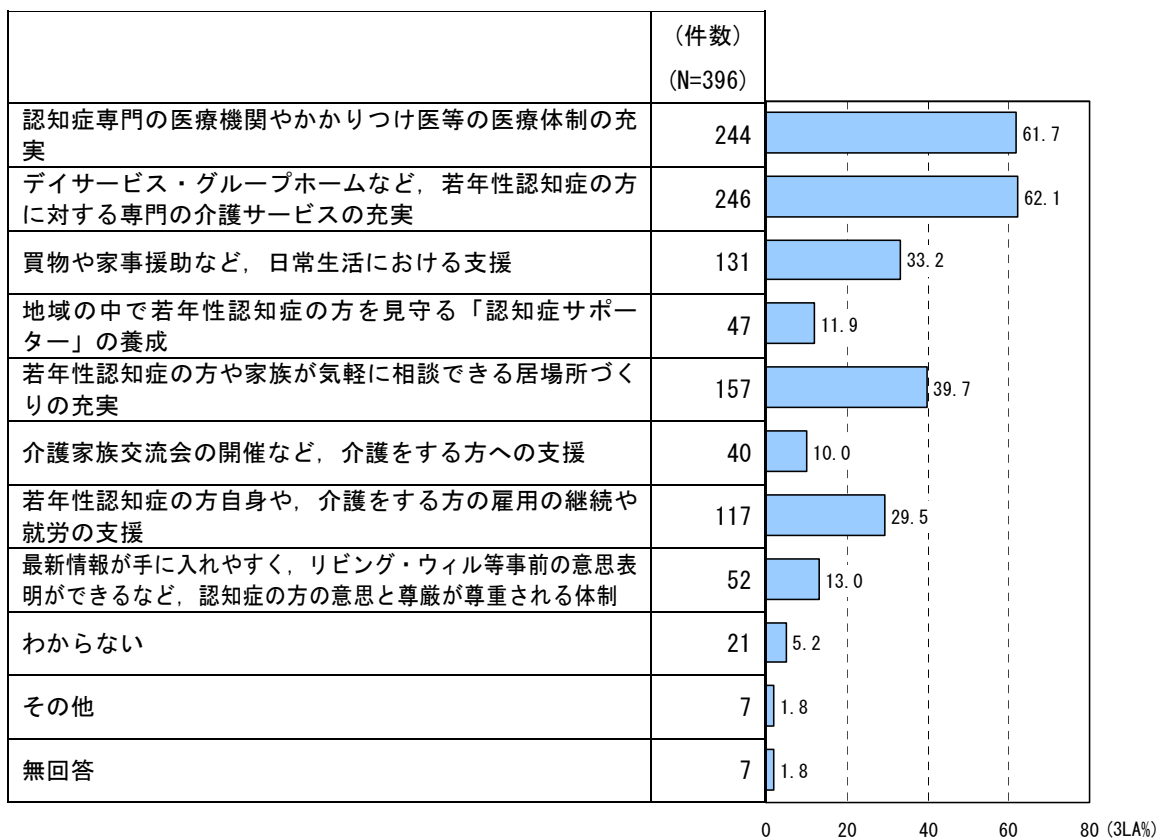
若年性認知症を支援する取組の認知状況については、「はい(知っている)」が21.5%、「いいえ(知らない)」が76.1%となっています。



(4) 若年性認知症になった場合に求める支援

問5 Q4. あなたやあなたの家族が若年性認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。〈〇は3つまで〉

若年性認知症になった場合に求める支援については、「デイサービス・グループホームなど、若年性認知症の方に対する専門の介護サービスの充実」が62.1%で最も高く、次いで「認知症専門の医療機関やかかりつけ医等の医療体制の充実」が61.7%、「若年性認知症の方や家族が気軽に相談できる居場所づくりの充実」が39.7%となっています。

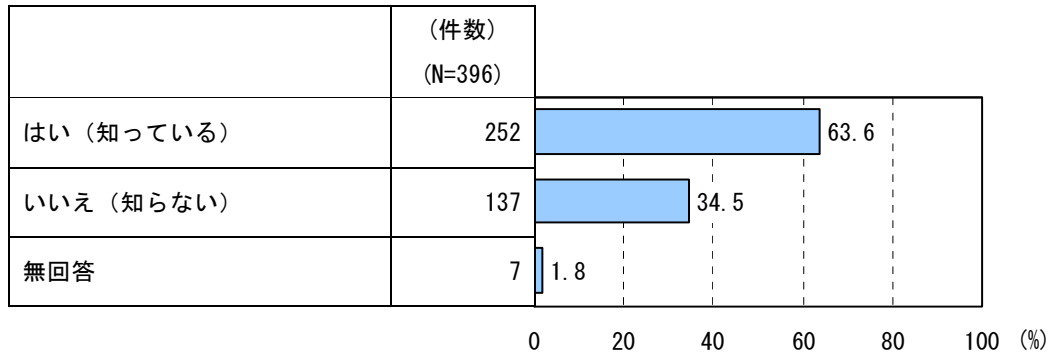


(5) 成年後見制度の認知状況

問5 Q5 成年後見制度を知っていますか。〈〇は1つ〉

成年後見制度の認知状況については、「はい（知っている）」が63.6%、「いいえ（知らない）」が34.5%となっています。

前回調査との比較では、「はい（知っている）」が前回よりも19.2ポイント高くなっています。



【前回調査との比較】

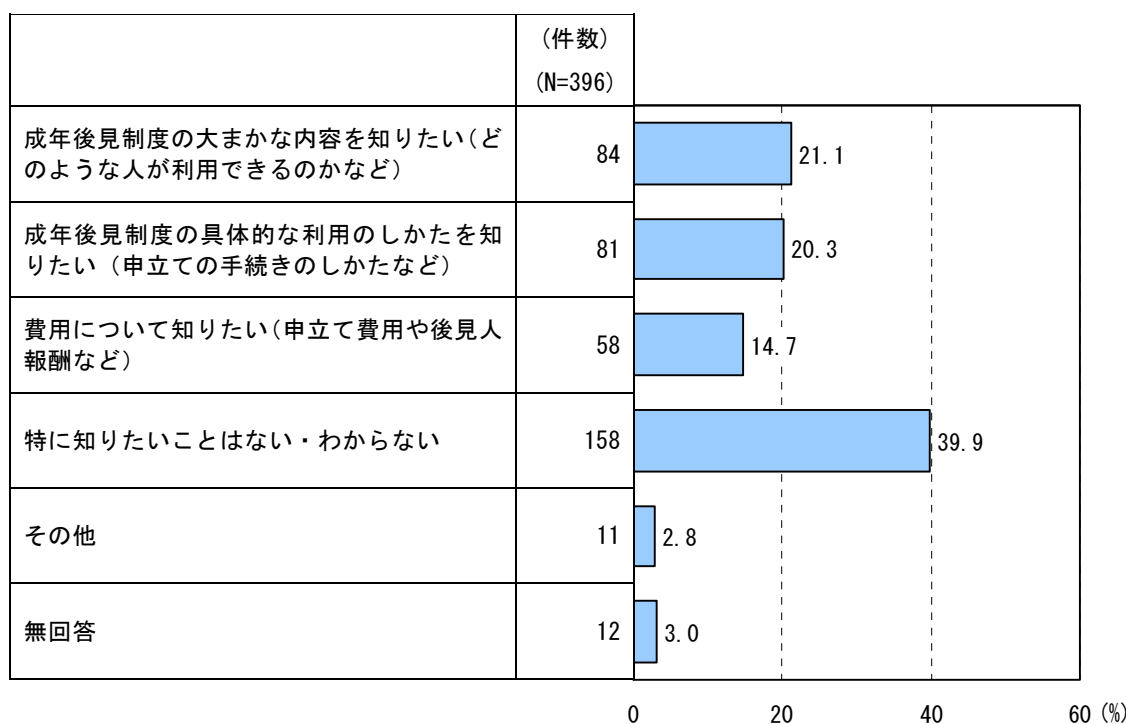
	N	はい（知っている）	いいえ（知らない）	無回答
平成25年度	396	63.6	34.5	1.8
平成22年度	1,387	44.4	51.8	3.7

(6) 成年後見制度について知りたいこと

問5 Q6 成年後見制度について知りたいことが何かありますか。〈〇は1つ〉

成年後見制度について知りたいことについては、「特に知りたいことはない・わからない」が39.9%で最も高く、次いで「成年後見制度の大まかな内容を知りたい（どのような人が利用できるのかなど）」が21.1%、「成年後見制度の具体的な利用のしかたを知りたい（申立ての手続きのしかたなど）」が20.3%となっています。

前回調査との比較では、「成年後見制度の具体的な利用のしかたを知りたい（申立ての手続きのしかたなど）」が7.5ポイント、「費用について知りたい（申立て費用や後見人報酬など）」が6.0ポイント、前回よりも高くなっています。



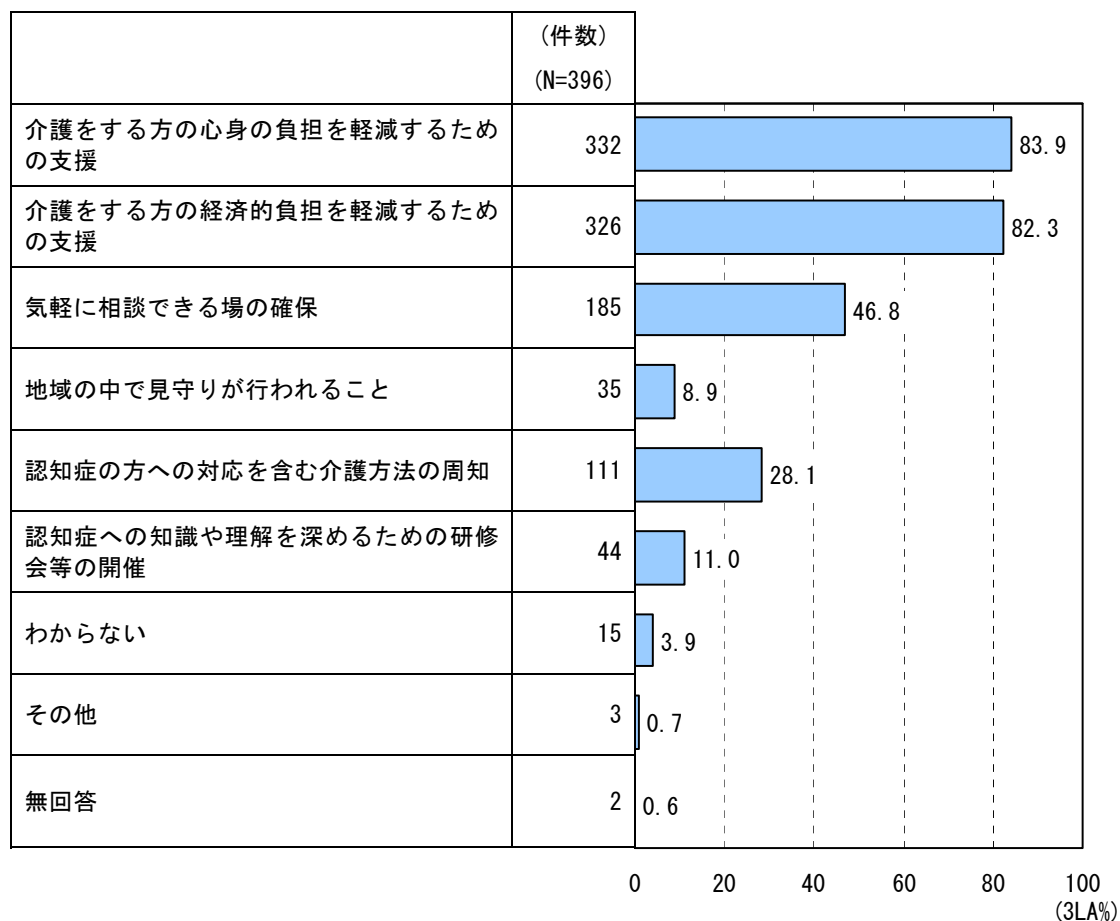
【前回調査との比較】

	N	利を成年のの成て費用か特その他無回答	用知手し年費費用にからに知その他無回答	用知手し年費費用にからに知その他無回答	用知手し年費費用にからに知その他無回答	用知手し年費費用にからに知その他無回答	用知手し年費費用にからに知その他無回答
平成25年度	396	21.1	20.3	14.7	39.9	2.8	3.0
平成22年度	1,387	24.4	12.8	8.7	46.4	2.1	5.8

(7) 家族等の介護をするうえで求める支援

問5 Q7. あなたが家族等の介護をするうえで、どのような支援があれば良いと思いますか。 <〇は3つまで>

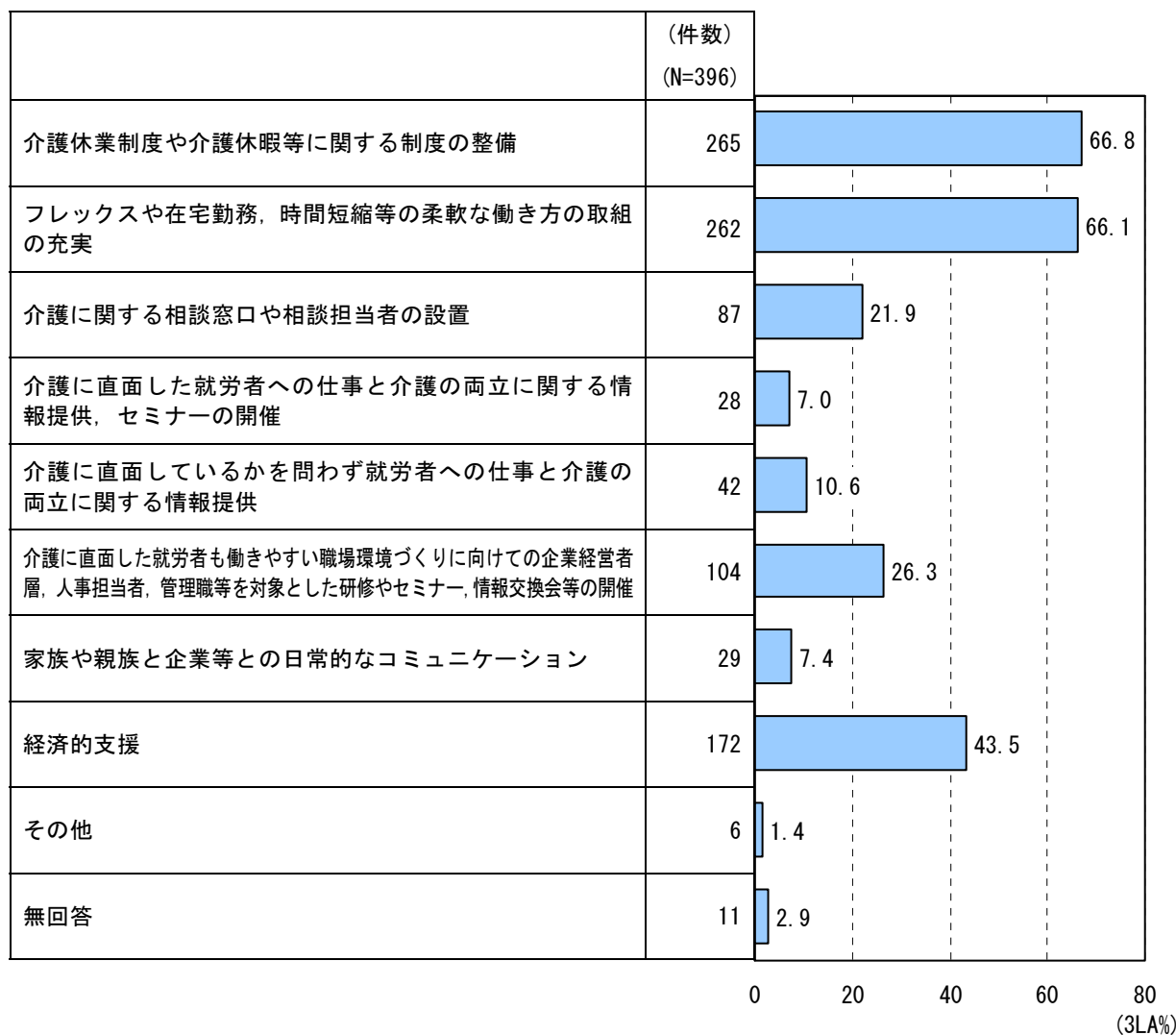
家族等の介護をするうえで求める支援については、「介護をする方の心身の負担を軽減するための支援」が83.9%で最も高く、次いで「介護をする方の経済的負担を軽減するための支援」が82.3%、「気軽に相談できる場の確保」が46.8%となっています。



(8) 介護と仕事の両立支援のため企業等に求める支援

問5Q8. 介護と仕事を両立するためには、企業等にどのような支援策があれば良いと思いますか。〈〇は3つまで〉

介護と仕事の両立支援のため企業等に求める支援については、「介護休業制度や介護休暇等に関する制度の整備」が66.8%で最も高く、次いで「フレックスや在宅勤務、時間短縮等の柔軟な働き方の取組の充実」が66.1%、「経済的支援」が43.5%となっています。

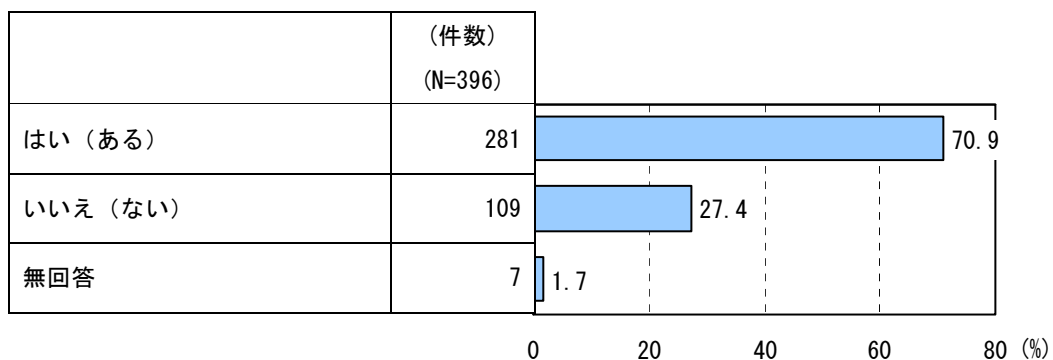


7 社会参加について

(1) 趣味の有無

問6 Q1. 趣味はありますか。〈〇は1つ〉

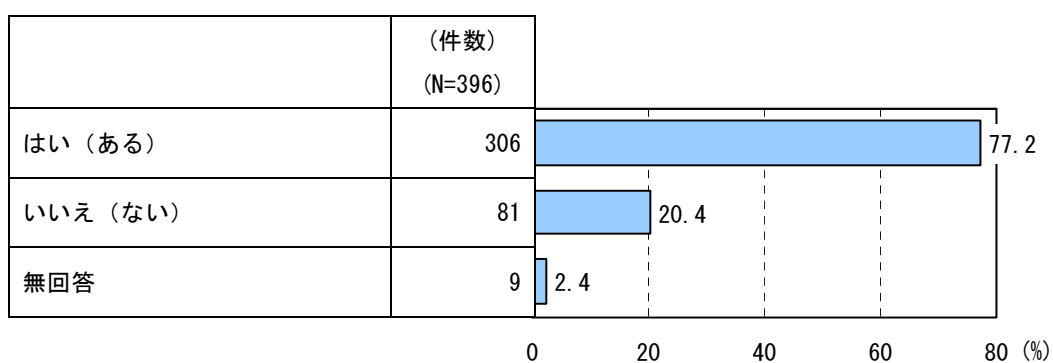
趣味の有無については、「はい（ある）」が70.9%、「いいえ（ない）」が27.4%となっています。



(2) 生きがいの有無

問6 Q2. 生きがいはありますか。〈〇は1つ〉

生きがいの有無については、「はい（ある）」が77.2%、「いいえ（ない）」が20.4%となっています。



(3) 会・グループの参加頻度

問6Q3. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 <(1)から(6)までそれぞれ〇は1つずつ>

会・グループの参加頻度については、「週4回以上」から「年に数回」までをあわせた『参加している』は“(4)町内会・自治会”が41.6%で最も高く、次いで“(3)趣味関係のグループ”が26.3%となっています。

「参加していないが、今後参加したい」は“(5)学習・教養サークル”が42.0%で最も高く、次いで“(1)ボランティアのグループ”が40.2%となっています。

「参加していないし、今後も参加する気はない」は“(1)ボランティアのグループ”“(2)スポーツ関係のグループやクラブ”，“(5)学習・教養サークル”がいずれも40%以上となっています。

(%)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い が 、 今 後	も 参 加 し て い な い が 、 今 後	無 回 答
N=396								
(1) ボランティアのグループ	0.4	0.6	0.9	4.5	5.5	40.2	40.8	7.0
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	0.6	4.7	8.1	5.6	5.0	28.0	41.3	6.6
(3) 趣味関係のグループ	0.2	1.1	5.5	9.5	10.0	37.4	30.9	5.4
(4) 町内会・自治会	-	0.2	0.2	6.2	35.0	16.8	34.4	7.0
(5) 学習・教養サークル	-	0.6	2.2	3.8	3.8	42.0	40.4	7.2
(6) その他の団体や会	0.8	1.3	1.7	4.6	8.2	19.9	55.8	7.7

(4) 社会参加活動や仕事の活動頻度

問6 Q4. 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。＜(1)から(5)までそれぞれ○は1つつつ＞

社会参加活動や仕事の活動頻度については、「週4回以上」から「年に数回」までをあわせた『参加している』は“(5)収入のある仕事”が55.0%で最も高く、次いで“(4)地域の生活環境の改善（美化）活動”が17.9%となっています。

「していないが、今後したい」は“(4)地域の生活環境の改善（美化）活動”が45.1%で最も高く、次いで“(3)子どもを育てている親を支援する活動”が41.6%となっています。

「していないし、今後もする気はない」は“(1)見守りが必要な高齢者を支援する活動”，“(2)介護が必要な高齢者を支援する活動”，“(3)子どもを育てている親を支援する活動”がいずれも40%以上となっています。

	(%)							
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	していないが、今後	もしする気はない、今後	無回答
N=396								
(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動	3.2	0.6	1.2	1.3	2.4	36.9	48.7	5.7
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動	3.1	0.8	0.4	0.6	2.5	36.7	49.0	6.9
(3) 子どもを育てている親を支援する活動	0.8	0.4	0.4	0.8	4.0	41.6	45.8	6.3
(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動	0.4	0.2	0.4	2.1	14.8	45.1	30.7	6.3
(5) 収入のある仕事	46.4	6.2	1.2	0.8	0.4	23.3	15.9	5.9

(5) たすけあいの状況

問6Q5. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
 <①から④までそれぞれあてはまるものすべてに○>

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が60.0%で最も高く、次いで「友人」が55.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が43.3%となっています。

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が59.6%で最も高く、次いで「友人」が58.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が48.3%となっています。

病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が66.1%で最も高く、次いで「同居の子ども」が30.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.9%となっています。

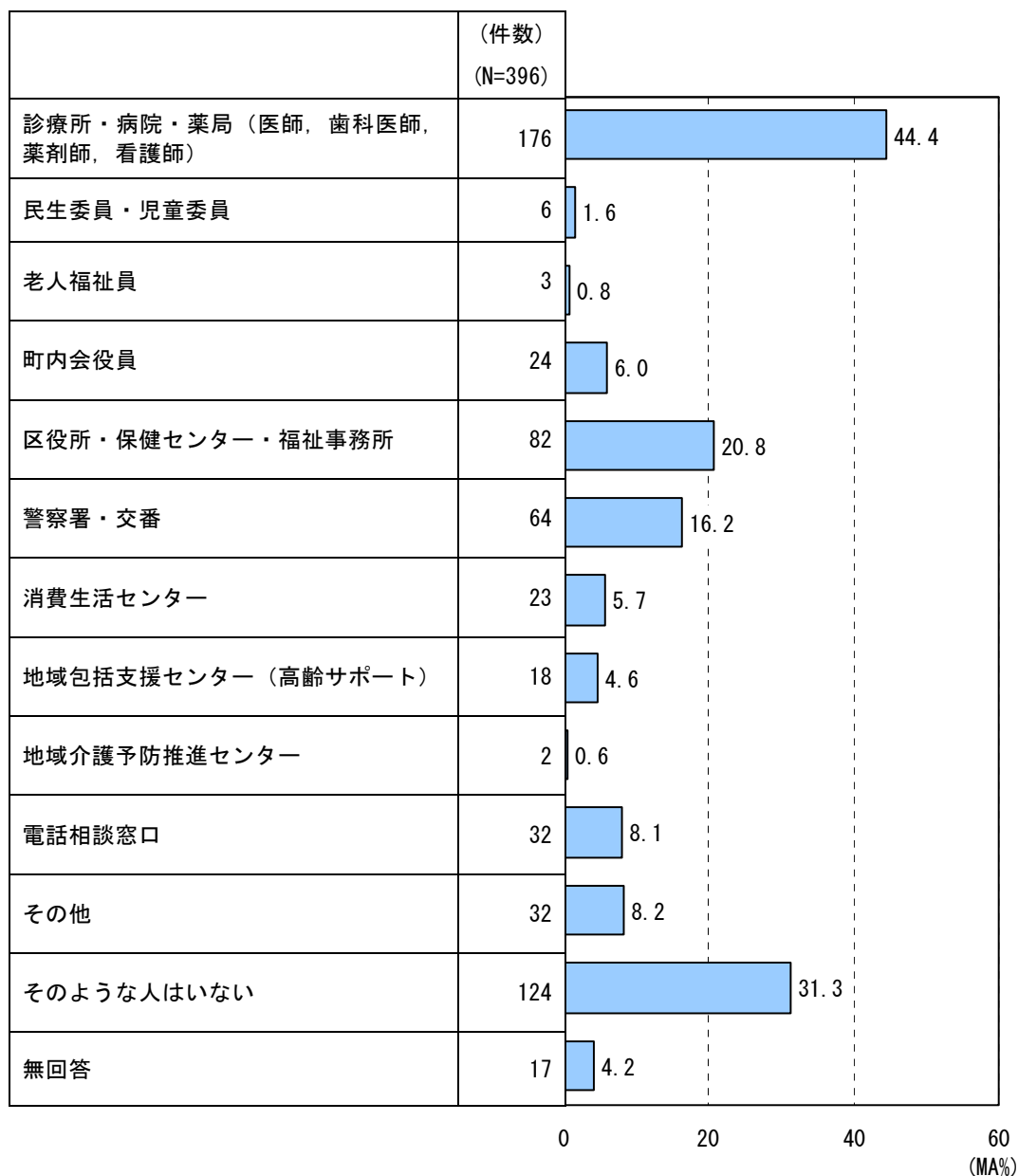
看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が70.3%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が48.3%、「同居の子ども」が46.4%となっています。

	(MA%)								
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
N=396									
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	60.0	26.2	15.0	43.3	7.5	55.1	5.3	4.5	2.0
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	59.6	31.6	17.0	48.3	9.5	58.2	5.3	2.1	2.5
(3) 病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	66.1	30.1	8.9	25.9	1.8	5.0	2.1	9.3	2.4
(4) 看病や世話をしてあげる人	70.3	46.4	13.3	48.3	2.1	6.5	1.5	6.4	3.2

(6) 家族や友人・知人以外での相談相手

問6Q6. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
 <あてはまるものすべてに○>

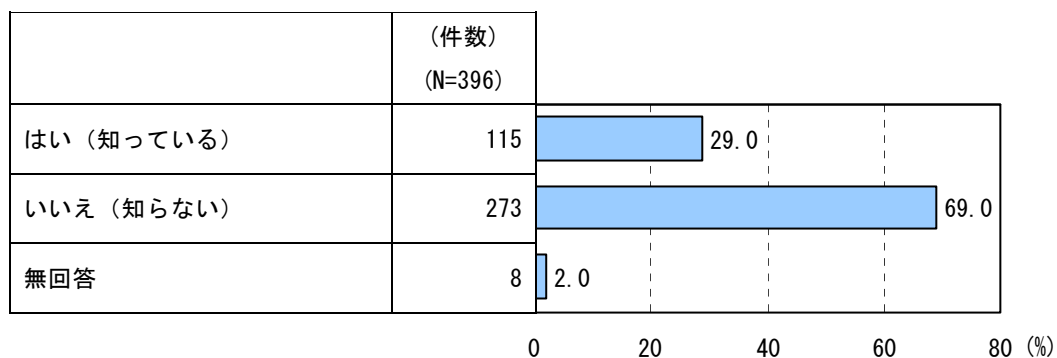
家族や友人・知人以外での相談相手については、「診療所・病院・薬局（医師，歯科医師，薬剤師，看護師）」が44.4%で最も高く，次いで「そのような人はいない」が31.3%，「区役所・保健センター・福祉事務所」が20.8%となっています。



(7) 地域包括支援センターの認知状況

問6 Q7. 地域包括支援センター（愛称：高齢サポート）を知っていますか。
 <○は1つ>

地域包括支援センターの認知状況については、「はい（知っている）」が29.0%、「いいえ（知らない）」が69.0%となっています。

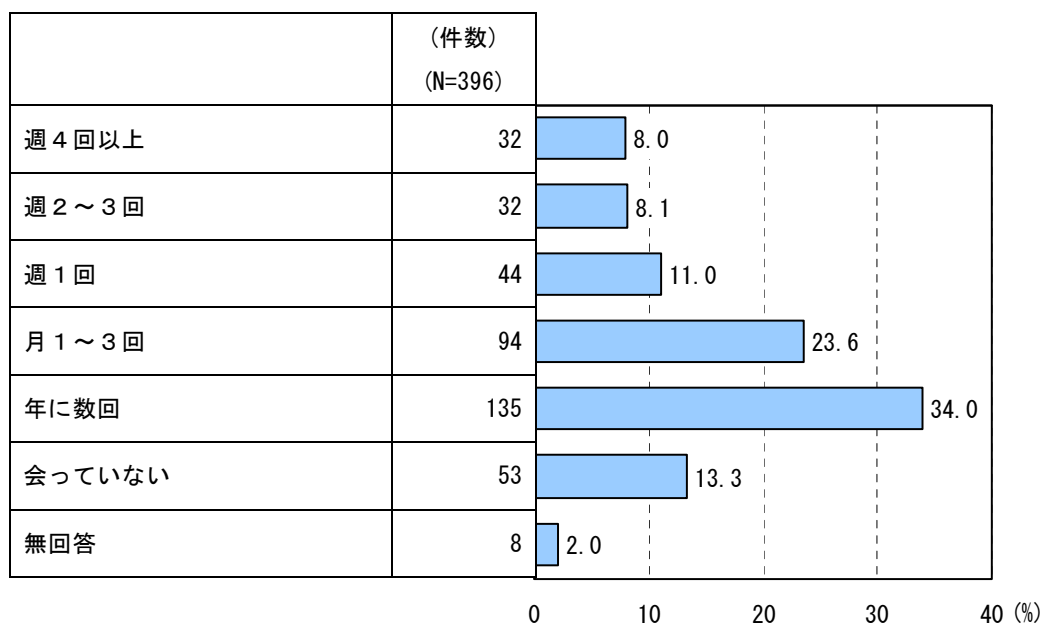


(8) 友人関係

① 友人と会う頻度

問6 Q8. 友人関係についておうかがいします。
 (1) 友人と会う頻度はどれくらいですか。<○は1つ>

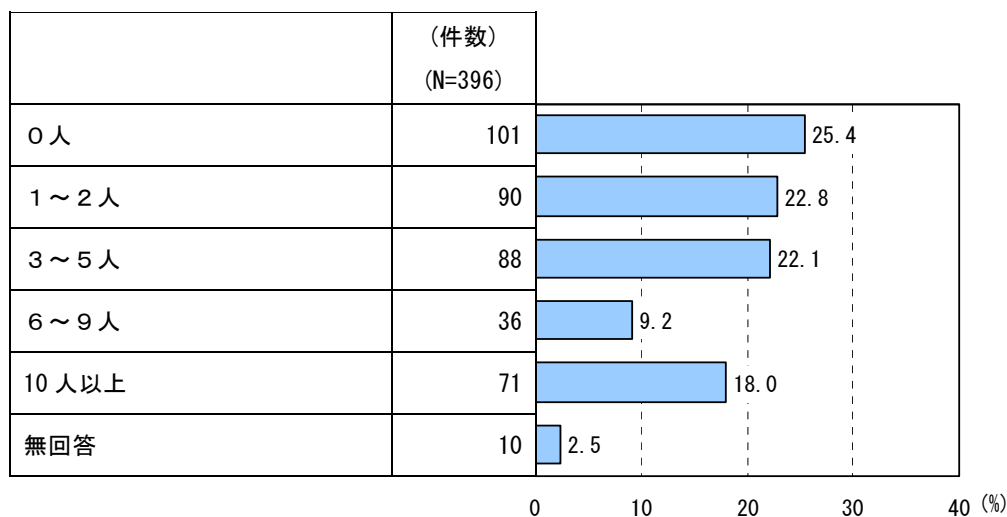
友人と会う頻度については、「年に数回」が34.0%で最も高く、次いで「月に1～3回」が23.6%、「会っていない」が13.3%となっています。



② この1ヶ月間に会った友人の人数

(2) この1ヶ月間、何人の友人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。〈〇は1つ〉

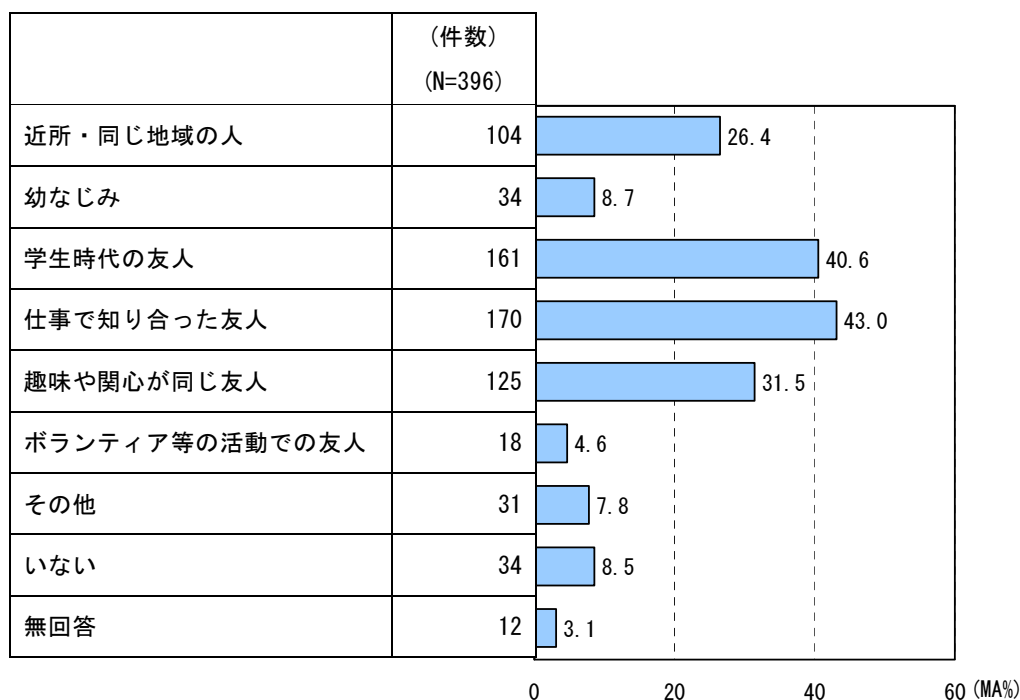
この1ヶ月の間に会った友人の人数については、「0人」が25.4%で最も高く、次いで「1～2人」が22.8%、「3～5人」が22.1%となっています。



③ よく会う友人との関係

(3) よく会う友人はどんな関係の人ですか。〈あてはまるものすべてに〇〉

よく会う友人との関係については、「仕事で知り合った友人」が43.0%で最も高く、次いで「学生時代の友人」が40.6%、「趣味や関心が同じ友人」が31.5%となっています。

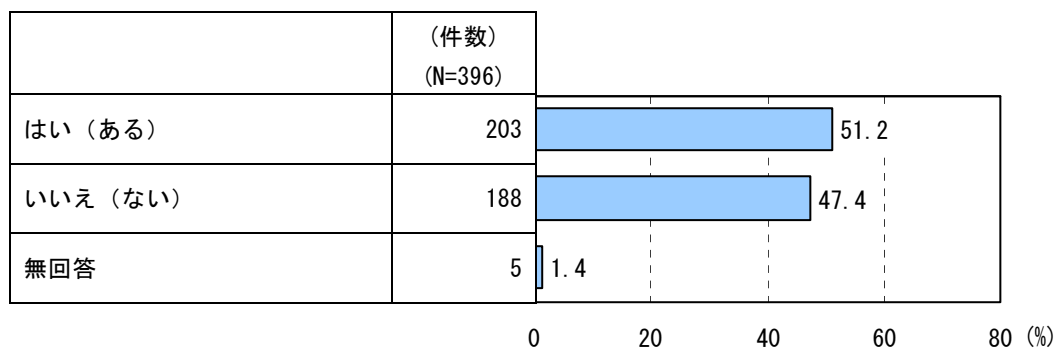


8 高齢者との関わりについて

(1) 高齢の親や祖父母との同居経験の有無

問7 Q1. 高齢の親や祖父母との同居経験がありますか。＜○は1つ＞

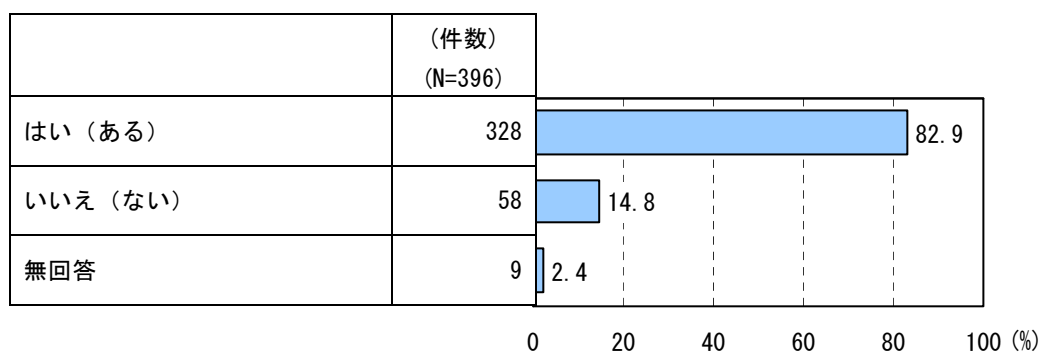
高齢の親や祖父母との同居経験の有無については、「はい(ある)」が51.2%、「いいえ(ない)」が47.4%となっています。



(2) 別居している親や祖父母と行き来したことの有無

問7 Q2. 別居している親や祖父母と行き来したことがありますか。＜○は1つ＞

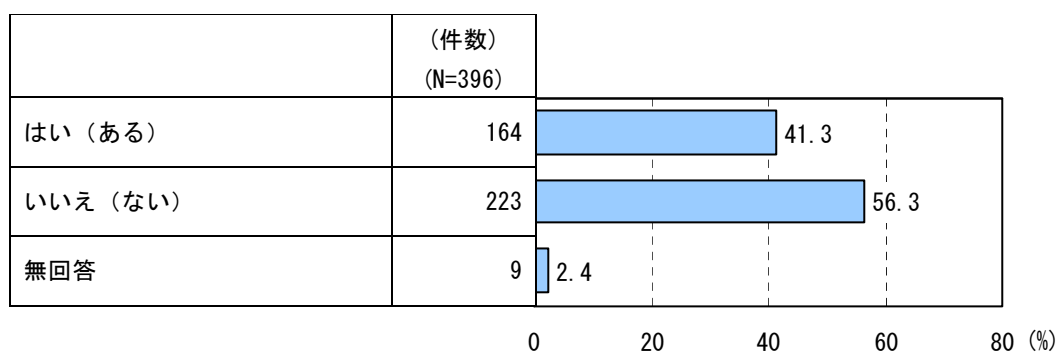
別居している親や祖父母と行き来したことの有無については、「はい(ある)」が82.9%、「いいえ(ない)」が14.8%となっています。



(3) 職場で日常的に高齢者と交流を持った経験の有無

問7 Q3. 職場で日常的に高齢者と交流を持ったことがありますか。＜○は1つ＞

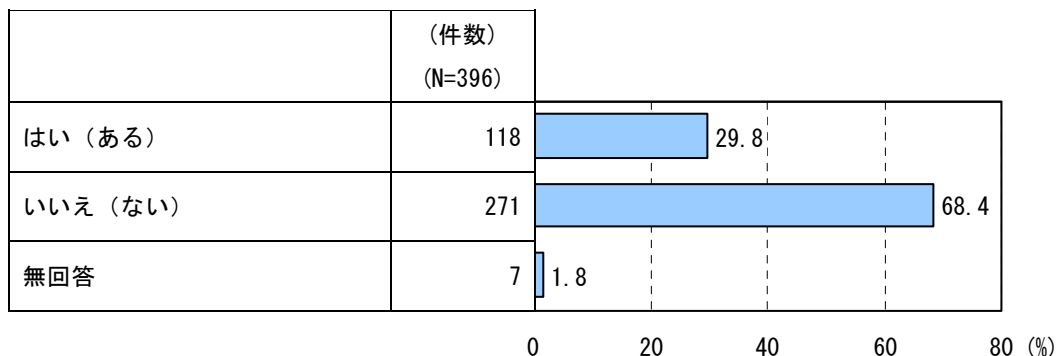
職場で日常的に高齢者と交流を持った経験の有無については、「はい(ある)」が41.3%、「いいえ(ない)」が56.3%となっています。



(4) 地域で日常的に高齢者と交流を持った経験の有無

問7Q4. 地域で日常的に高齢者と交流を持ったことがありますか。〈〇は1つ〉

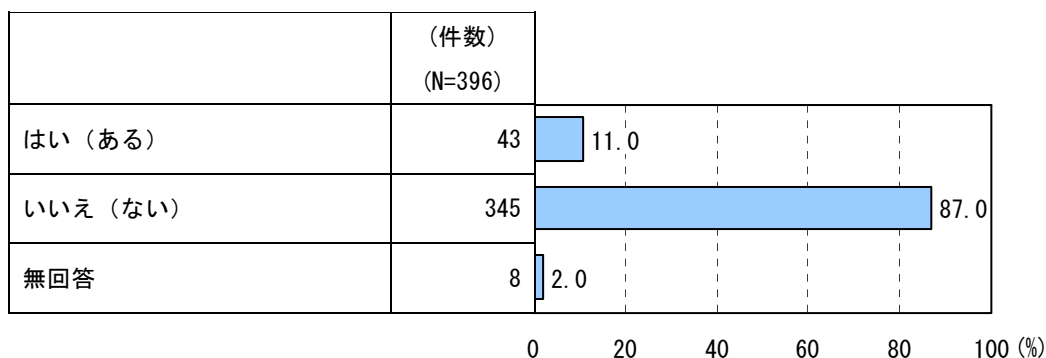
地域で日常的に高齢者と交流を持った経験の有無については、「はい(ある)」が29.8%、「いいえ(ない)」が68.4%となっています。



(5) ボランティア活動などでの高齢者との交流経験の有無

問7Q5. ボランティア活動などでの高齢者との交流がありますか。〈〇は1つ〉

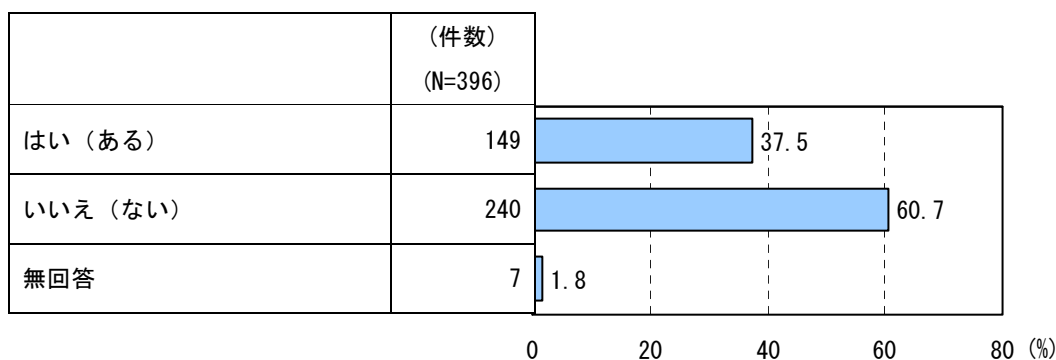
ボランティア活動などでの高齢者との交流経験の有無については、「はい(ある)」が11.0%、「いいえ(ない)」が87.0%となっています。



(6) 介護を必要とする高齢者を世話した経験の有無

問7Q6. 介護を必要とする高齢者を世話した経験がありますか。〈〇は1つ〉

介護を必要とする高齢者を世話した経験の有無については、「はい(ある)」が37.5%、「いいえ(ない)」が60.7%となっています。

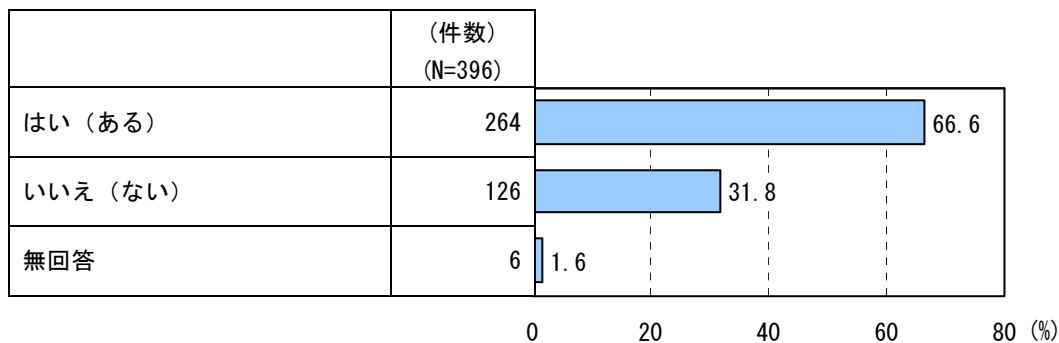


(7) 高齢者の死に立ち会った経験の有無

問7Q7. 高齢者の死に立ち会った経験がありますか。〈○は1つ〉

高齢者の死に立ち会った経験の有無については、「はい(ある)」が66.6%、「いいえ(ない)」が31.8%となっています。

前回調査との比較では、傾向に大きな差異は見られません。



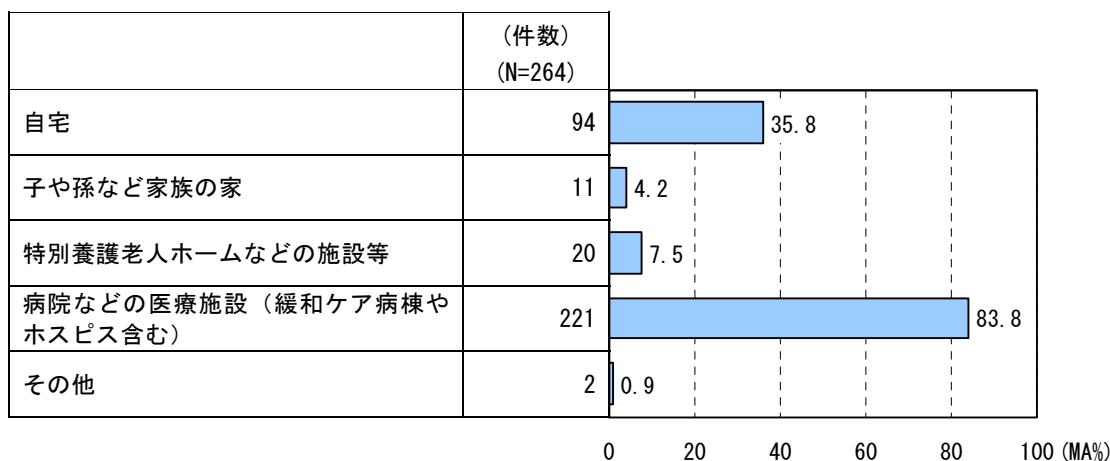
【前回調査との比較】

	N	はい (ある)	いいえ (ない)	無 回 答
平成25年度	396	66.6	31.8	1.6
平成22年度	1,387	64.7	27.7	7.6

(8) 死に立ち会った高齢者の終末を迎えた場所

【高齢者の死に立ち会った経験がある方のみ】(Q7で「1. はい」と回答した方)
問7Q7-1. 死に立ち会った高齢者はどこで人生の終末を迎えられましたか。
〈あてはまるものすべてに○〉

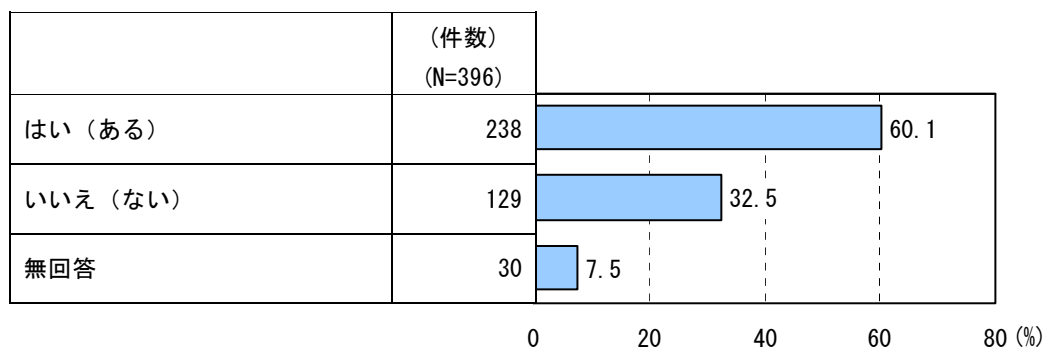
高齢者の死に立ち会った経験があると回答した人に、死に立ち会った高齢者の終末を迎えた場所についてたずねたところ、「病院などの医療施設(緩和ケア病棟やホスピス含む)」が83.8%で最も高く、次いで「自宅」が35.8%、「特別養護老人ホームなどの施設等」が7.5%となっています。



(9) 人生の先輩として尊敬できる高齢者との交流経験の有無

問7Q8. 人生の先輩として尊敬できる高齢者との交流を経験したことがありますか。
 <〇は1つ>

人生の先輩として尊敬できる高齢者との交流経験の有無については、「はい(ある)」が60.1%、「いいえ(ない)」が32.5%となっています。

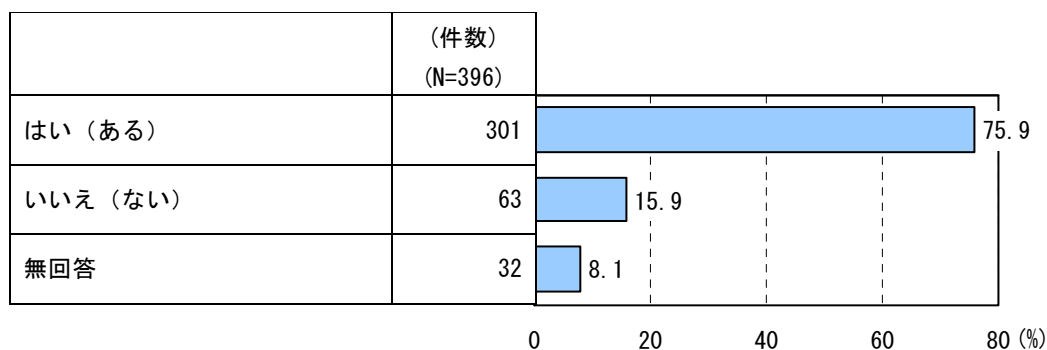


(10) 本・テレビを通じて高齢者問題を考えた経験の有無

問7Q9. 本, テレビを通じて高齢者問題を考えたことがありますか。<〇は1つ>

本・テレビを通じて高齢者問題を考えた経験の有無については、「はい(ある)」が75.9%、「いいえ(ない)」が15.9%となっています。

前回調査との比較では、「はい(ある)」が前回よりも8.8ポイント高くなっています。



【前回調査との比較】

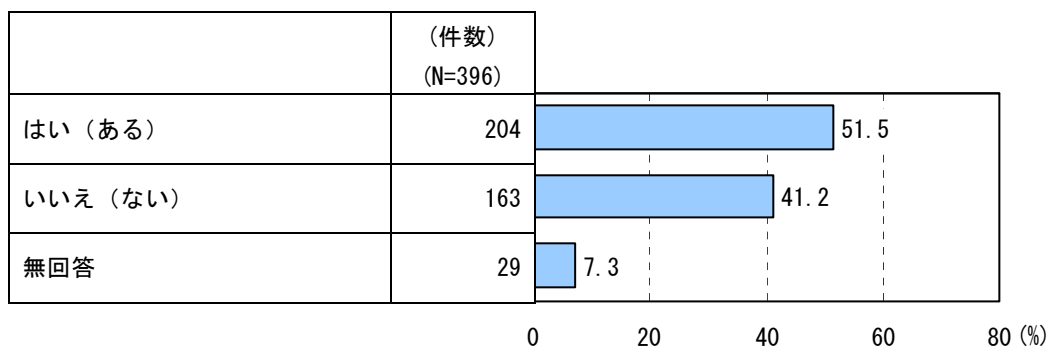
	N	はい (ある)	いいえ (ない)	無 回 答
平成25年度	396	75.9	15.9	8.1
平成22年度	1,387	67.1	24.9	8.0

(11) 認知症の方と関わった経験の有無

問7 Q10. 認知症の方と関わった経験がありますか。〈〇は1つ〉

認知症の方と関わった経験の有無については、「はい（ある）」が51.5%、「いいえ（ない）」が41.2%となっています。

前回調査との比較では、「はい（ある）」が前回よりも10.8ポイント高くなっています。



【前回調査との比較】

	N	はい （ある）	いいえ （ない）	無 回 答
平成25年度	396	51.5	41.2	7.3
平成22年度	1,387	40.7	51.3	7.9

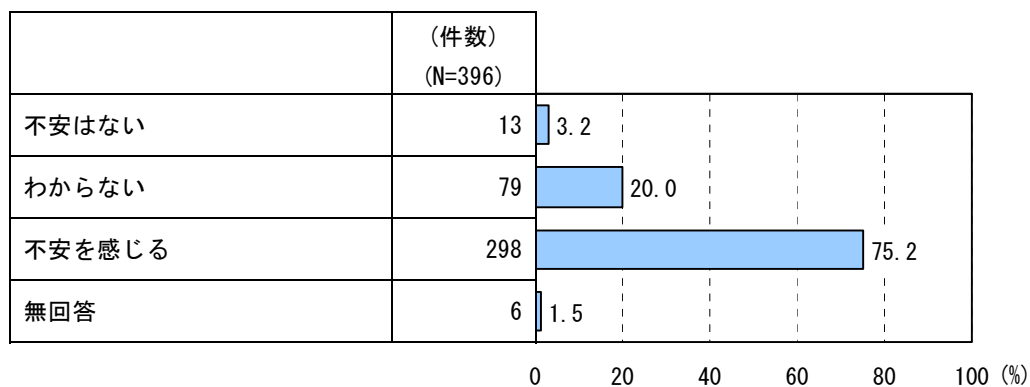
9 高齢期について

(1) 老後の生活に対する不安の有無

問8Q1. あなたは、老後の生活に不安を感じていますか。〈○は1つ〉

老後の生活に対する不安の有無については、「不安を感じる」が75.2%で最も高く、次いで「わからない」が20.0%、「不安はない」が3.2%となっています。

前回調査との比較では、「不安を感じる」が前回よりも9.7ポイント高くなっています。



【前回調査との比較】

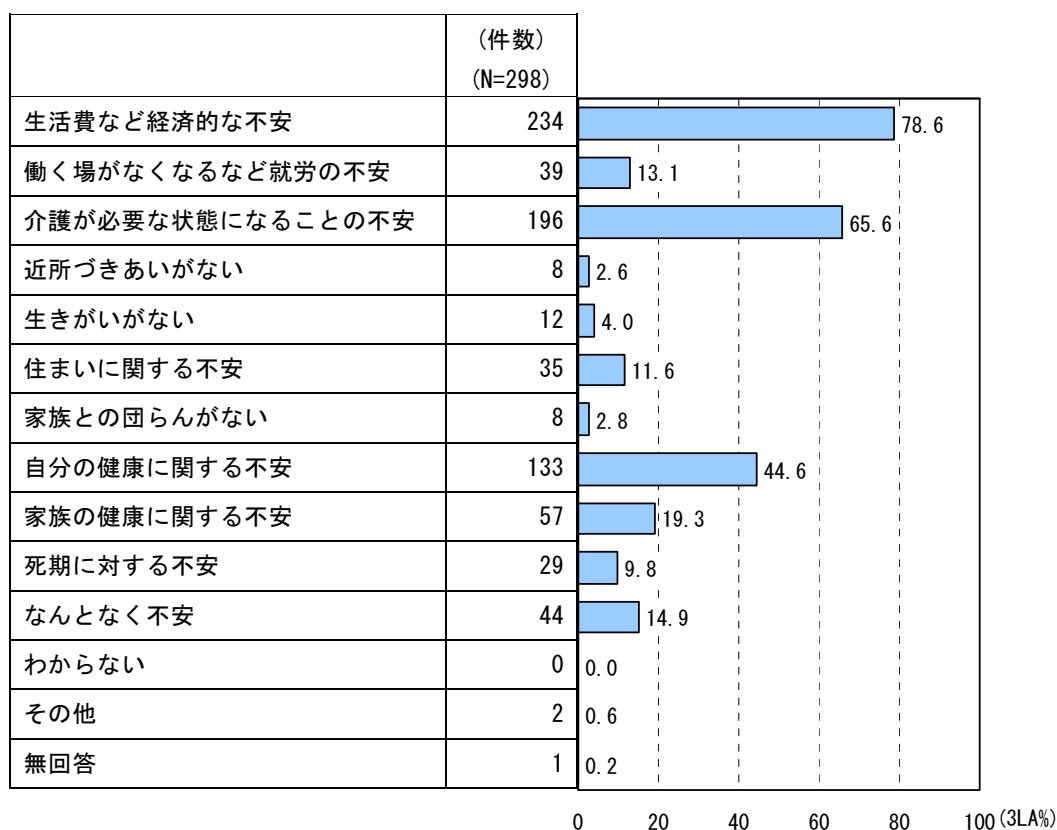
	N	不安はない	わからない	不安を感じる	無回答
平成25年度	396	3.2	20.0	75.2	1.5
平成22年度	1,387	5.9	20.8	65.5	7.9

(2) 老後の生活に対する不安の内容

【老後の生活に不安を感じている方のみ】(Q1で「3. 不安を感じる」と回答した方に)
問8 Q1-1. どんなことに不安を感じますか。<○は3つまで>

老後の生活に対する不安を感じると回答した人に、その内容についてたずねたところ、「生活費など経済的な不安」が78.6%で最も高く、次いで「介護が必要な状態になることの不安」が65.6%、「自分の健康に関する不安」が44.6%となっています。

前回調査との比較では、「家族の健康に関する不安」が6.4ポイント、「働く場がなくなるなど就労の不安」が6.2ポイント「自分の健康に関する不安」が5.5ポイント、前回よりも低くなっています。



【前回調査との比較】

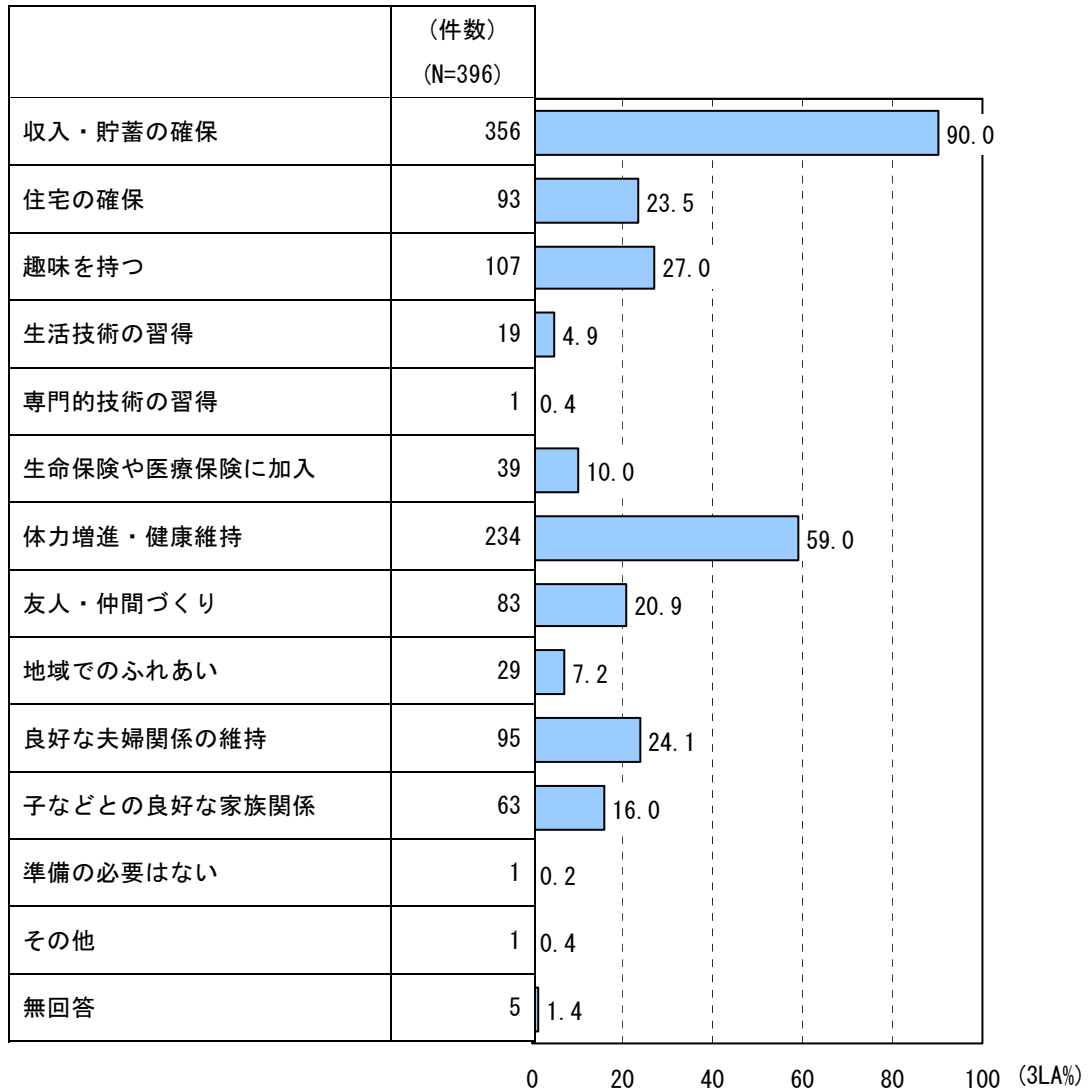
	N	な生活 不安 費など 経済的	な働 く場 がな く不 安	に介 護が 必要 な状 態	い近 所づ きあ いが な	生き がい がな い	安住 まい に関 する 不	な家 族と の団 らん が	る自 分の 健康 に関 す	る家 族の 健康 に関 す	死期 に対 する 不安	なん となく 不安	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
平成25年度	298	78.6	13.1	65.6	2.6	4.0	11.6	2.8	44.6	19.3	9.8	14.9	-	0.6	0.2
平成22年度	908	78.0	19.3	63.8	3.0	2.6	8.1	1.1	50.1	25.7	6.9	10.8	0.2	1.3	0.1

(3) 老後のための準備として必要なもの

問8Q2. 老後のための準備として必要なものは何だと思いますか。〈〇は3つまで〉

老後のための準備として必要なものについては、「収入・貯蓄の確保」が90.0%で最も高く、次いで「体力増進・健康維持」が59.0%、「趣味を持つ」が27.0%となっています。

前回調査との比較では、「収入・貯蓄の確保」が9.5ポイント、「趣味を持つ」が6.9ポイント、「良好な夫婦関係の維持」が5.0ポイント、前回よりも高くなっています。



【前回調査との比較】

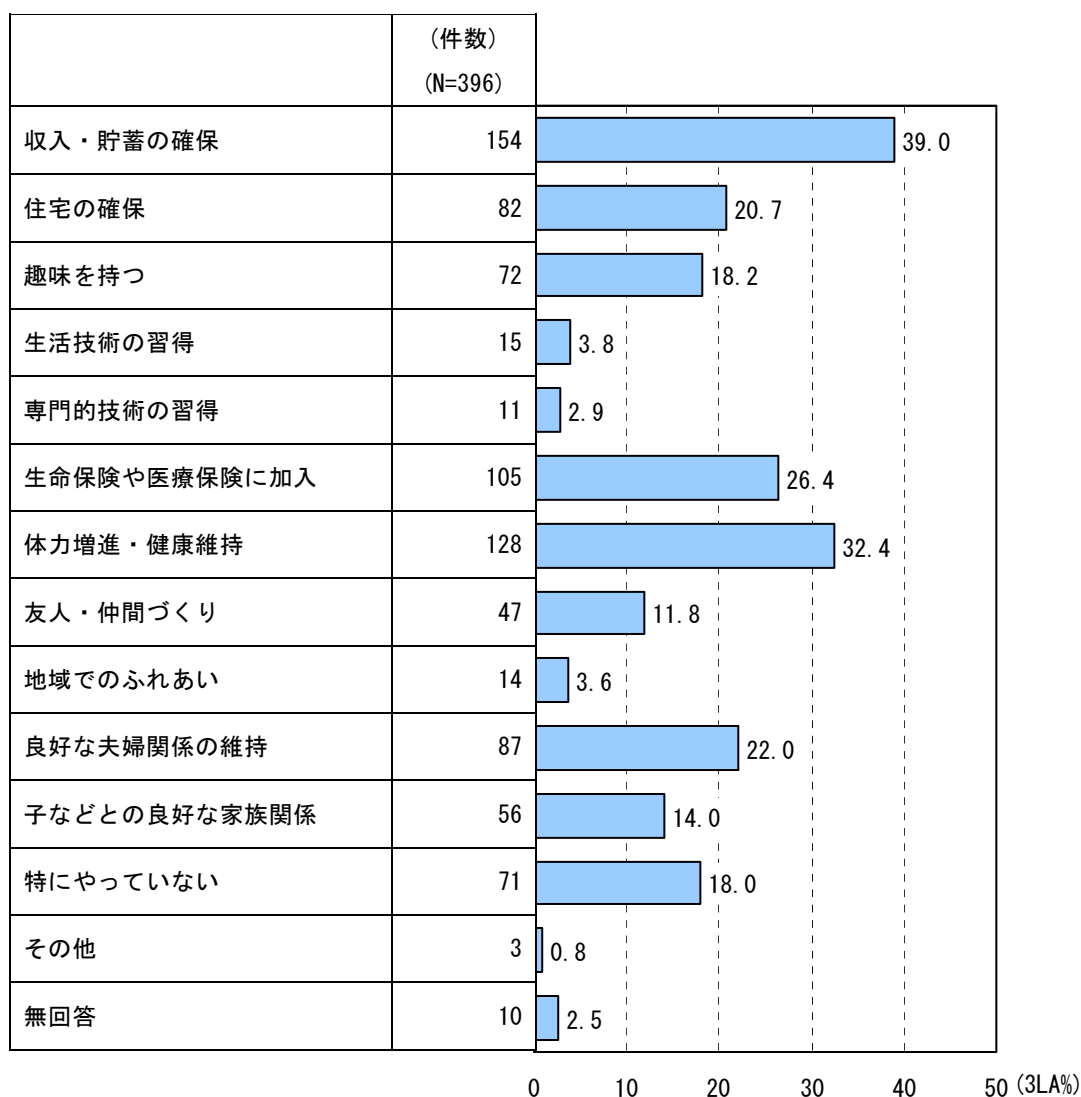
	N	収入・貯蓄の確保	住宅の確保	趣味を持つ	生活技術の習得	専門的技術の習得	生命保険や医療保険に加入	体力増進・健康維持	友人・仲間づくり	地域でのふれあい	良好な夫婦関係の維持	子どもなどの良好な家族関係	準備の必要はない	その他	無回答
平成25年度	396	90.0	23.5	27.0	4.9	0.4	10.0	59.0	20.9	7.2	24.1	16.0	0.2	0.4	1.4
平成22年度	1,387	80.5	21.1	20.1	2.7	0.4	7.5	54.1	22.7	7.8	19.1	18.8	0.2	0.8	0.1

(4) 老後のための準備としてすでに行っていること

問8Q3. 老後のための準備として、現在すでに行っていることはありますか。
 <〇は3つまで>

老後のための準備としてすでに行っていることについては、「収入・貯蓄の確保」が39.0%で最も高く、次いで「体力増進・健康維持」が32.4%、「生命保険や医療保険に加入」が26.4%となっています。

前回調査との比較では、「収入・貯蓄の確保」が6.9ポイント、「生命保険や医療保険に加入」が5.7ポイント、「良好な夫婦関係の維持」が5.3ポイント、前回よりも高くなっています。「特にやっていない」は前回よりも5.4ポイント低くなっています。



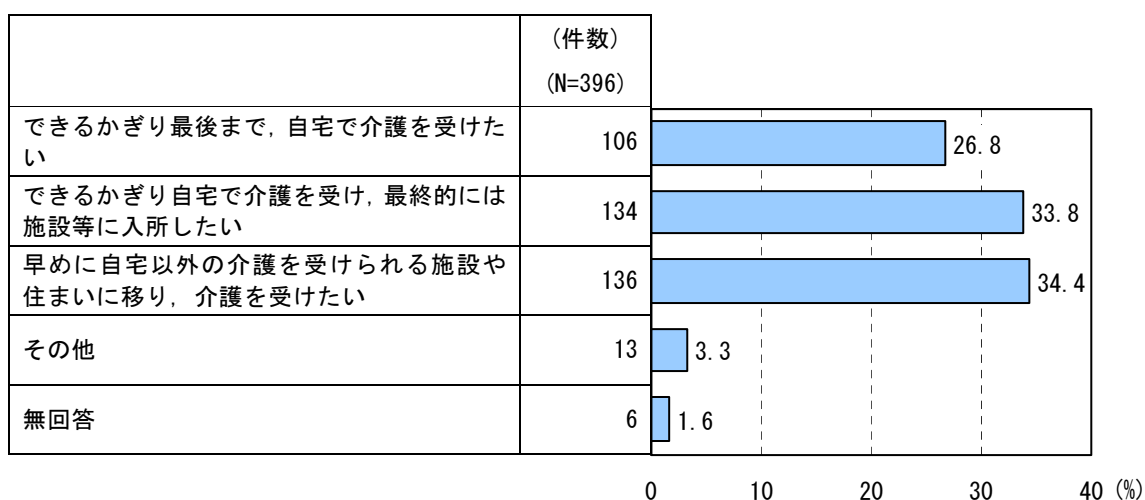
【前回調査との比較】

	N	収入・貯蓄の確保	住宅の確保	趣味を持つ	生活技術の習得	専門的技術の習得	生命保険や医療保険に加入	体力増進・健康維持	友人・仲間づくり	地域でのふれあい	良好な夫婦関係の維持	子どもなどの良好な家族関係	特にやっていない	その他	無回答
平成25年度	396	39.0	20.7	18.2	3.8	2.9	26.4	32.4	11.8	3.6	22.0	14.0	18.0	0.8	2.5
平成22年度	1,387	32.1	21.3	17.2	1.6	1.2	20.7	29.2	16.1	4.0	16.7	13.5	23.4	1.0	6.4

(5) 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所

問8Q4. あなた自身に介護が必要になった時に、あなたはどこで介護を受けたいですか。〈〇は1つ〉

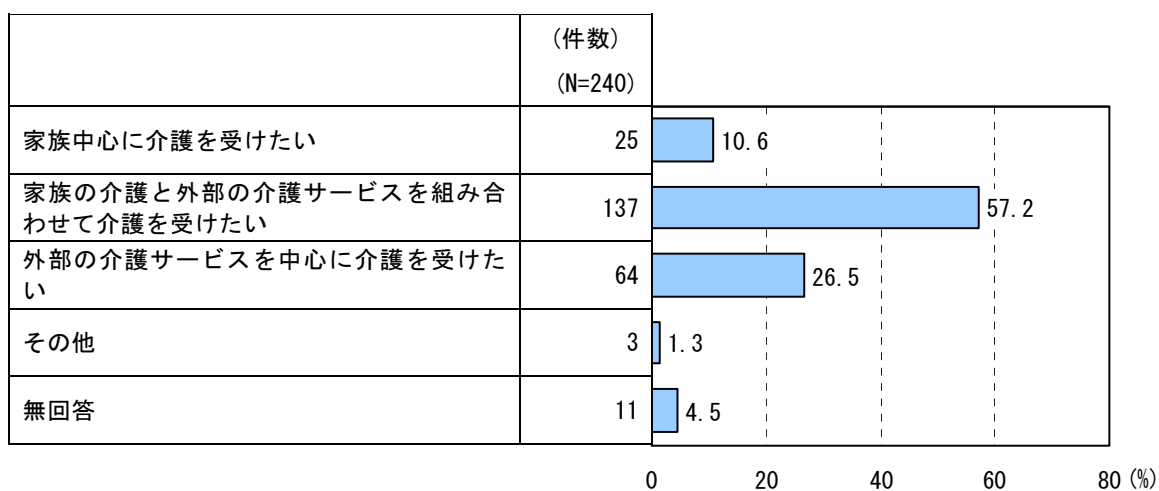
介護が必要になった場合の介護を受けたい場所については、「早めに自宅以外の介護を受けられる施設や住まいに移り、介護を受けたい」が34.4%で最も高く、次いで「できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」が33.8%、「できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」が26.8%となっています。



(6) 希望する介護形態

【できるだけ自宅で介護を受けたい方のみ】(Q4で「1」または「2」と回答した方)
問8Q4-1. どのような介護を希望しますか。〈〇は1つ〉

できるだけ自宅で介護を受けたいと回答した人に、希望する介護形態についてたずねたところ、「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が57.2%で最も高く、次いで「外部の介護サービスを中心に介護を受けたい」が26.5%、「家族中心に介護を受けたい」が10.6%となっています。

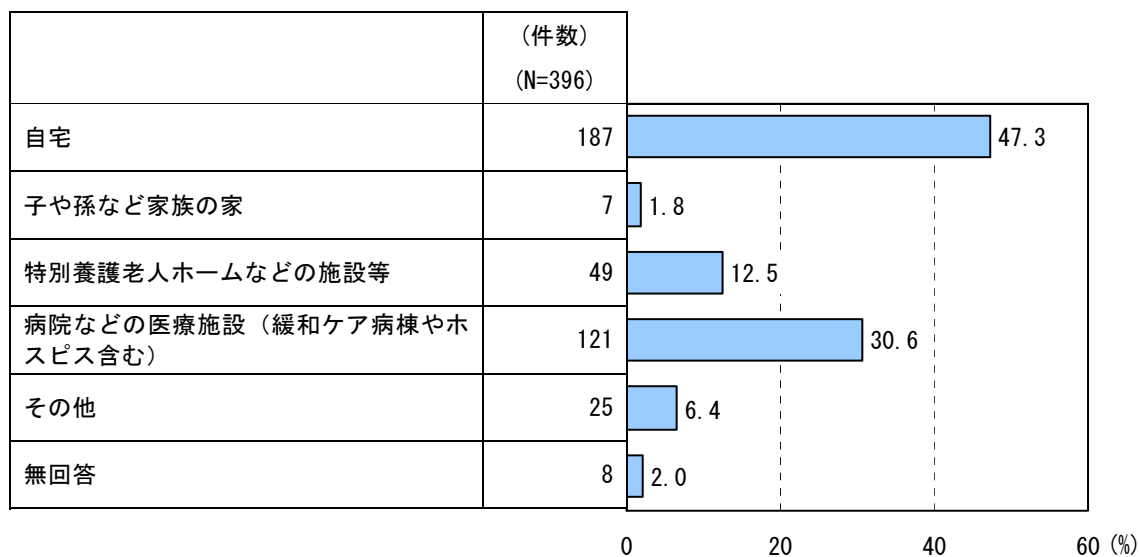


(7) 終末を迎えたい場所

問8Q5. あなたは、どこで人生の終末を迎えたいですか。〈〇は1つ〉

終末を迎えたい場所については、「自宅」が47.3%で最も高く、次いで「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」が30.6%、「特別養護老人ホームなどの施設等」が12.5%となっています。

前回調査との比較では、傾向に大きな差異は見られません。



【前回調査との比較】

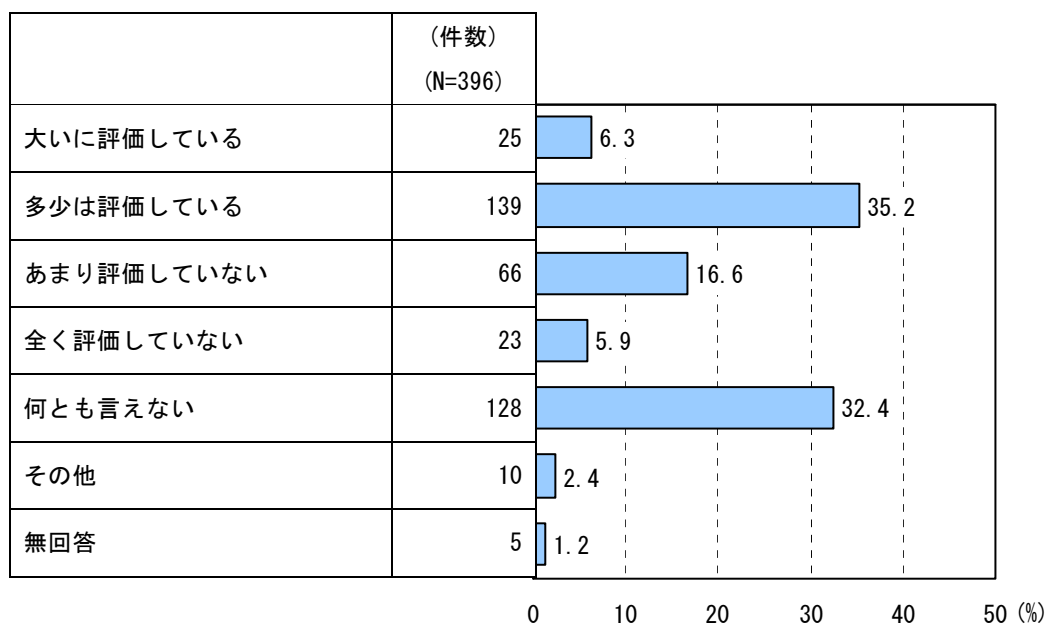
	N	自宅	子や孫など家族の家	特別養護老人ホームなどの施設等	（緩和ケア病棟やホスピス含む）病院などの医療施設	その他	無回答
平成25年度	396	47.3	1.8	12.5	30.6	6.4	2.0
平成22年度	1,387	49.6	2.1	8.7	30.6	4.5	4.6

10 介護保険制度について

(1) 介護保険制度に対する評価

問9 Q1. 介護保険制度への評価として、あなたの考えに近いものは次のどれですか。
<○は1つ>

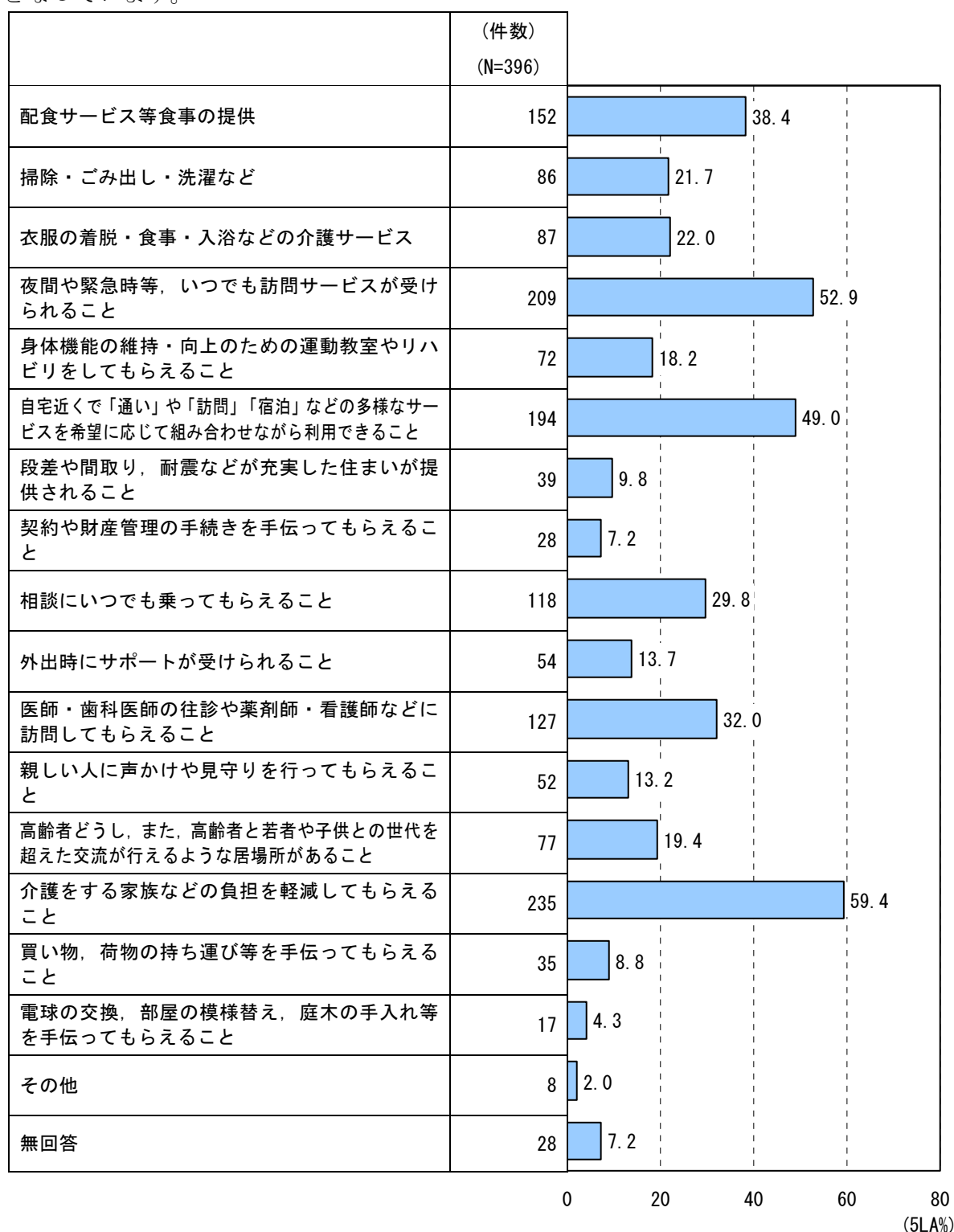
介護保険制度に対する評価については、「多少は評価している」が35.2%で最も高く、次いで「何とも言えない」が32.4%で、「大いに評価している」と「多少は評価している」をあわせた『評価している』は41.5%、「あまり評価していない」と「全く評価していない」をあわせた『評価していない』は22.5%となっています。



(2) 住み慣れた地域での継続生活で充実すべき支援

問9 Q2. 高齢期になって、住み慣れた地域で生活をするには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。〈〇は5つまで〉

住み慣れた地域での継続生活のために充実すべき支援については、「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」が59.4%で最も高く、次いで「夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること」が52.9%、「自宅近くで「通い」や「訪問」「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること」が49.0%となっています。

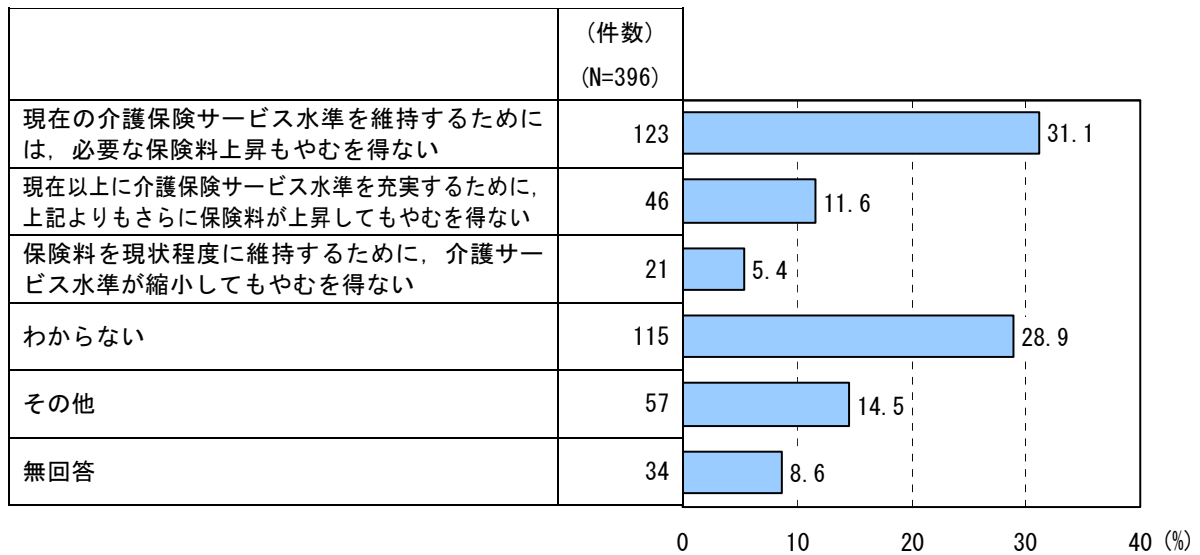


(3) 介護保険料と介護サービスの在り方に関する考え方

問9Q3. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたの考え方に近いものは次のどれですか。〈○は1つ〉

介護保険料と介護サービスの在り方に関する考え方については、「現在の介護保険サービス水準を維持するためには、必要な保険料上昇もやむを得ない」が31.1%で最も高く、次いで「わからない」が28.9%、「現在以上に介護保険サービス水準を充実するために、上記よりもさらに保険料が上昇してもやむを得ない」が11.6%となっています。

介護保険制度に対する評価別でみると、“大いに評価している”と“多少は評価している”では、「現在の介護保険サービス水準を維持するためには、必要な保険料上昇もやむを得ない」は40%以上と高くなっています。



【介護保険制度に対する評価別 介護保険料と介護サービスの在り方に関する考え方】

